

工 事 設 計 書

令和 3 年度	工 事 名	米子市営東山陸上競技場公認更新改修工事				
工 事 概 要		部 長	課 長	担当課長補佐	審 査	設 計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日～令和4年3月25日迄					
工 事 場 所	米 子 市 東 山 町 地 内					
	施 工 面 積 A=7458m2					
	全天候型舗装工 一式					
	施 設 整 備 工 一式					
	構 造 物 撤 去 工 一式					
	仮 設 工 一式					

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。

2 感染拡大防止に向けた取組

(1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行嚴重警戒地域（V）、感染流行警戒地域（VI）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の14日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。また、感染流行嚴重警戒地域（V）、感染流行警戒地域（IV）の指定が無い場合においても、緊急事態宣言区域及びまん延防止等重点措置区域から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する直前にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。なお、PCR検査実施後は、やむを得ない場合を除き外出を自粛すること。このPCR検査に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

(2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

(3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

① 書類の提出について

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督職員と協議を行うこと。

② 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

- ・ ①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・ 最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・ マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・ 打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、次のとおり対応すること。

（１）工事等の関係者がPCR検査を受けた場合（検査結果が判明するまでの対応）

① 該当者が受注者側（現場代理人、主任技術者、監理技術者、照査技術者、担当技術者及び作業員（下請けを含む））の場合

ア 受注者は、速やかに発注者に報告する。

イ 発注者は、必要な安全対策を実施した上で即座に現場作業を停止させるとともに、全ての作業員を自宅待機とするよう受注者に要請する。（工事の場合）

② 該当者が発注者側（各監督員、調査職員及び監督補助員）の場合

ア 発注者は、速やかに受注者に連絡するとともに、該当者との濃厚接触者について自宅待機とするよう要請する。

イ 受注者は、濃厚接触者の有無について確認し、発注者に報告する。

（２）工事等の関係者がPCR検査で陽性と確認された場合

① 該当者が受注者側の場合

ア 工事等を一時中止する。（中止期間は受発注者協議の上決定）

② 該当者が発注者側の場合

ア 受発注者で協議し、必要に応じて工事等を一時中止とする。（中止期間は受発注者協議の上決定）

5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

3つの密を 避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。
人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

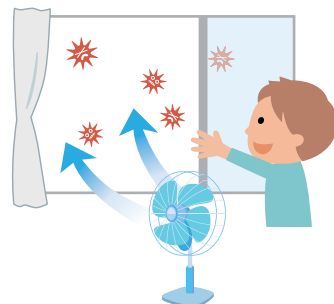


①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合

- ・ 風の流れることができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間**程度、**全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・ 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



機械換気がある場合

- ・ 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m³)を確保するよう努めなければなりません。
- ・ したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・ しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・ 通常の家用的エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- ・ 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- ・ 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

- 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（**2メートル以上**）を取りましょう。

- スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。



- 飲食店の座席では、**隣の人と一つ飛ばしに座る**と、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、**互い違いに座る**のも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。



- エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

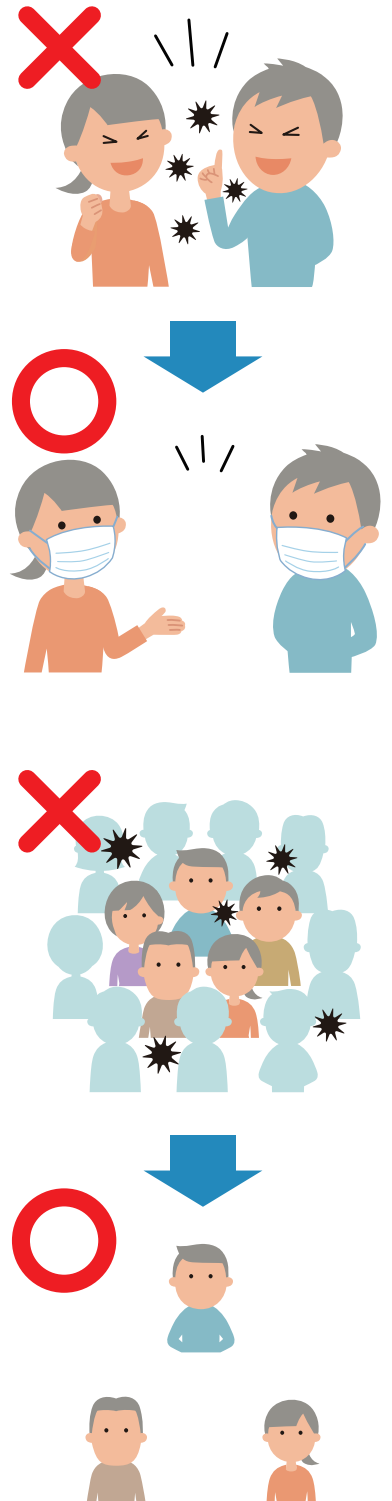
- 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata



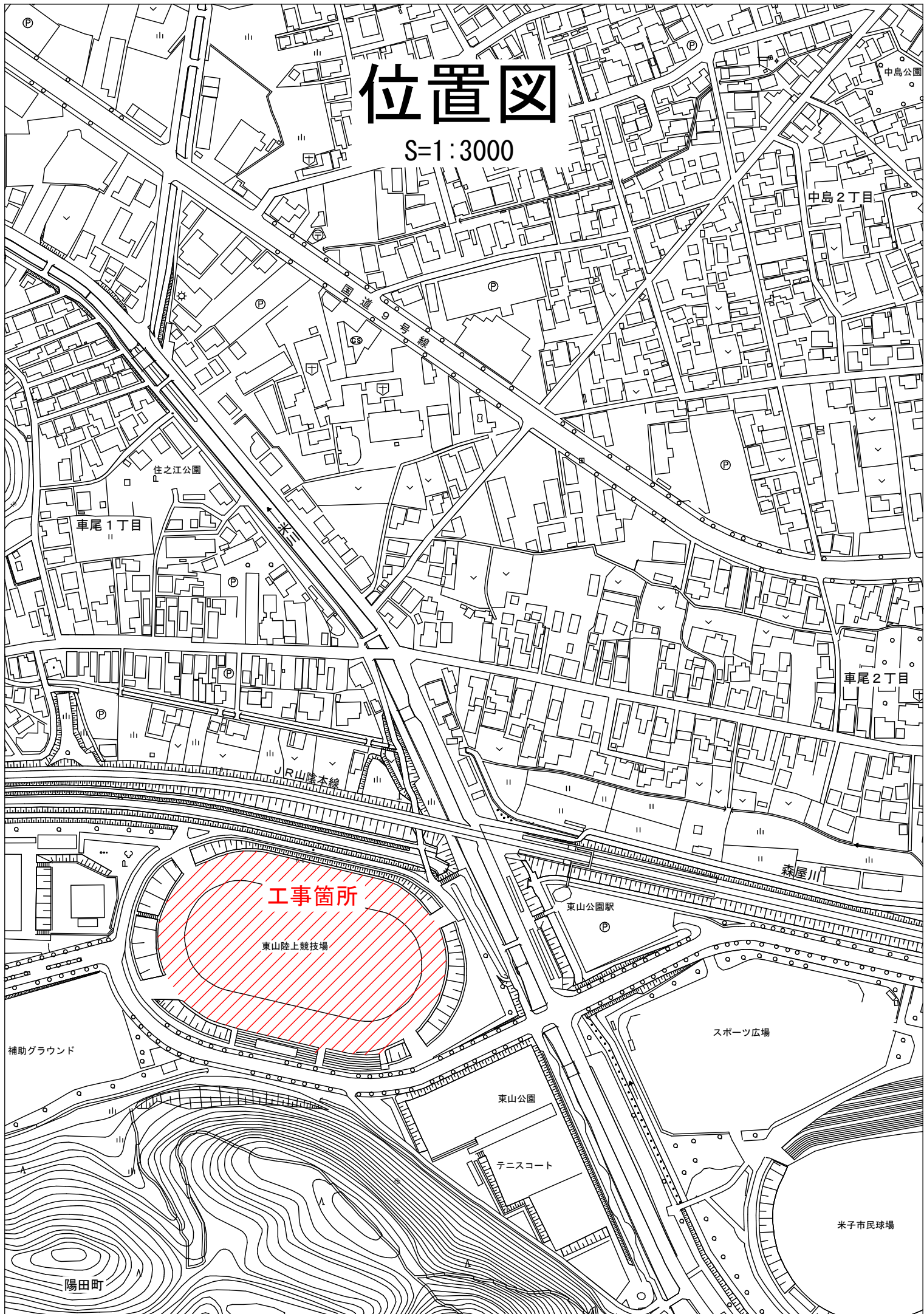
③「密接」した会話や発声は、避けましょう!

- 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHO は「5 分間の会話で 1 回の咳と同じくらいの飛まつ（約 3,000 個）が飛ぶ」と報告しています。
- 対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。
- エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や、携帯電話による通話を慎みましょう。**
- 飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。
注)「多人数」とは 10 人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。
- スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- 喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。



位置図

S=1:3000



総括数量表

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
グラウンド・コート整備							
	全天候型舗装工						
		切削オーバーレイ工					
			ウレタン切削・オーバーレイ-1	2mm切削・3mmオーバーレイ	m ²	4690	走路
			ウレタン切削・オーバーレイ-1	2mm切削・3mmオーバーレイ	m ²	1080	Aゾーン
			ウレタン切削・オーバーレイ-1	2mm切削・3mmオーバーレイ	m ²	1340	Bゾーン
			ウレタン切削・オーバーレイ-1	2mm切削・3mmオーバーレイ	m ²	90	メイン助走路
			ウレタン切削・オーバーレイ-1	2mm切削・3mmオーバーレイ	m ²	258	バック助走路
		ウレタン張替工					
			ウレタン舗装-1(張替)	t=10mm	m ²	11	アウトフィールド*
	施設整備工						
		スポーツポイント工					
			角石・標石	真チウ板 35×35×5	箇所	16	
			ライン・マーキング工	WA仕様	m	5150	
			標識タイル	ステンレス製	個	560	
			300mハードル標識工	皿ネジ 白ペイント	箇所	86	
			ラインテープ	落下域用	m	36	砲丸落下域
		縁石工					
			内圏縁石整備	清掃・調整	m	419	
			内圏縁石	抜き差し式	m	5	新設
		付帯施設工					
			障害池整備	深さ500mm 固定障害撤去・新設	式	1	
			円盤・ハンマー投 サークル整備	枠白塗装、清掃蓋 蓋撤去・新設	箇所	2	
			砲丸投サークル整備	枠白塗装、清掃蓋 蓋撤去・新設	箇所	3	
			砲丸落下域整正	砂補充 平均3cm	m ²	156	
			砂場整備	砂補充 平均5cm	式	1	

総 括 数 量 表	
--	--

[illegible]

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

- (6) ほ装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。
- (7) 工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底 について
(令和3年6月23日付契起第284号ー1米子市総務部長通知) に基づき、追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

現 場 説 明 書		令和3年4月1日改正 特記事項1
仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>屋外体育施設の建設指針（最新版）</u> ・ <u>陸上競技ルールブック（最新版）</u>	
工程	① （他工事等との調整） ② （部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④ （余裕期間設定工事） ⑤ （鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥ （週休2日モデル工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 <u>本工事</u>の施工時間は、<u>8：30 ～ 17：00</u>とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	① （用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
	② （支障物件）	
	③ （立木の置き場所）	
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数_____日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計_____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計_____名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置してゐるとみなす。
排水処理濁水	① （濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり_____円を_____に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ④（分別解体等） ⑤（他工事等流用） ⑥（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） ⑦（木材市場等へ売却） ⑧（最終処理等） ⑨（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m² 当り <u>5,939</u> 円 アスファルト塊 1 m² 当り <u>3,392</u> 円 建設発生木材 1 m³ 当り _____ 円 [Co 雑割材・_____] は、_____市・町・村_____地内_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 <u>米子</u> 市・町・村 <u>夜見町</u> 地内の <u>（有）大成商事</u>（運搬距離 <u>6.6</u> km）、費用 1 t 当り <u>1,000</u> 円 アスファルト塊 <u>米子</u> 市・町・村 <u>和田町</u> 地内の <u>カネックス㈱</u>（運搬距離 <u>11.0</u> km）、費用 1 t 当り <u>1,300</u> 円 建設発生木材 _____市・町・村 <u>夜見町</u> 地内の <u>（有）大成商事</u>（運搬距離 <u>6.6</u> km）、費用 1 t 当り <u>12,000</u> 円 その他（廃プラスチック） <u>米子</u> 市・町・村 <u>大篠津町</u> 地内の <u>（有）山陰クリエート</u>（運搬距離 <u>12.0</u> km）、費用 1 m³ 当り <u>6,500</u> 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____については、_____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1 t 当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用) — ② (再生資材の使用) —	_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C 〇 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生コンクリート砂 [規格：R S — _____] は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。 5) その他再生資材 [資材名：_____] [規格：_____] は、使用箇所：_____ に使用する。												
工事用道路														
仮設備														
その他	① (労災補償に必要な保険の付保) ② (現場環境改善)	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善 (率計上分) 実施対象工事と [する・しない]。 下表の内容のうち原則として各費目 (仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携) ごとに1実施内容ずつ (いずれか1項目のみ2実施内容) の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容 (目的に資するものであること) について監督員の確認を受けること。 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table border="1" data-bbox="603 1406 1442 2121"> <thead> <tr> <th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減</td></tr> <tr> <td>営繕関係</td><td>1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス (交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr> <tr> <td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 2. 盗難防止対策 (警報機等) 3. 避暑 (熱中症予防)・防寒対策</td></tr> <tr> <td>地域連携</td><td>1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 6. 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献</td></tr> <tr> <td>防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)</td><td>1. 防災訓練 (地震・台風等の自然災害に対する訓練)</td></tr> </tbody> </table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス (交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 2. 盗難防止対策 (警報機等) 3. 避暑 (熱中症予防)・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 6. 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献	防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練 (地震・台風等の自然災害に対する訓練)
計上費目	実施内容													
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減													
営繕関係	1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス (交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等													
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 2. 盗難防止対策 (警報機等) 3. 避暑 (熱中症予防)・防寒対策													
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 6. 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献													
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練 (地震・台風等の自然災害に対する訓練)													

※明示する項目を_____ 部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

特 記 仕 様 書

I 工 事 概 要

工事名称：米子市営東山陸上競技場公認更新改修工事
工事場所：鳥取県米子市東山町 地内

II 一 般 事 項

II・1 競技場の規格

- 1－1 本陸上競技場は、財団法人日本陸上競技連盟（以下“陸連”と言う）競技規則に基づく全天候舗装第2種公認陸上競技場とする。使用する表層材はワールドアスレティックス（以下“WA”と言う）の品質基準に合格し認証登録されたものを使用し、公式の陸上競技会を開催し得るに充分な精度のある施設とする。

II・2 公認検定

- 2－1 トラック・フィールドおよび競技施設については、高度な平坦性および適度な弾力性と高精度の施工技術を要するため、陸連による公認検定を受け、これに合格しなければならない。

II・3 標準仕様書

- 3－1 本特記仕様書及び図面に記載されてない事項については「鳥取県土木工事等共通仕様書」、「鳥取県土木工事施工管理基準」を標準仕様書とし、これに基づいて施工する。その他、主な規格・基準は以下のとおりである。

- ①最新版 陸上競技ルールブック（公益財団法人 日本陸上競技連盟編）
②都市公園技術標準解説書・改訂版（社団法人 日本公園緑地協会編）
③屋外体育施設の建設指針（公益財団法人 日本体育施設協会 屋外体育施設部会編）
④舗装設計施工指針（社団法人 日本道路協会編）
⑤舗装施工便覧（社団法人 日本道路協会編）
⑥舗装構造に関する技術基準同解説（社団法人 日本道路協会編）

II・4 監督職員の定義

- 4－1 本仕様書における監督員は、米子市の本工事担当職員を指し、監督員は工事契約書に基づき設計図書の記載事項に関して、指示・承認・協議・検査立ち会い及び検査等を行う。

II・5 工程管理

- 5－1 工事着工に先立ち、工程表・施工計画書・現場組織表・その他監督職員の指示によるものを監督員に提出し、承認を受けた後、工事に着手するものとする。

II・6 材料の管理

- 6－1 工事に使用する材料は、「材料承認願」を提出し監督員の承認を受け、工程表に従い工事の進捗に支障なきよう充分に手配すること。
- 6－2 現場に搬入された材料は、随時監督職員が点検・試験できるように検査試験用具を準備し、監督員が不合格と認めた材料は、速やかに代品を納入し、再度点検を受けること。
- 6－3 検査試験時に合格した資材であっても使用時に監督員が材質不良と認めたものは使用してはならない。

II・7 施工検査

- 7－1 あらかじめ監督員の指示した箇所等、主要な工事段階の区切等では、監督員の検査を受けなければならない。

II・8 現場管理

- 8－1 請負者は、監督員の指示によるもののほか、「土木工事安全施工技術指針」を遵守し、常に工事の安全に留意し現場管理を行うこと。
- 8－2 本工事にはポリウレタン樹脂や溶剤等、化学物質を使用するので、その保管取扱いについては、関係する諸法規定を遵守しなければならない。

II・9 後片付け

- 9－1 工事の完了した時は、速やかに仮設物を取り払い、後片付け、清掃をする。ただし、特に期限の定められたものに付いては期限内に処理すること。

II・10 竣工図

- 10－1 工事竣工後監督員の指示に従い、竣工図並びに必要な図書を作成し、監督員の指示する図書を速やかに提出すること。

III 全天候型ウレタン舗装工事

III・1 切削オーバーレイ舗装工事

1－1 材 料

- a) 全天候ウレタン舗装材
- a-i) WAの品質基準に合格し、認証登録されたものとする。
- a-ii) 日本陸連全天候舗装公認及びWAクラスⅡ認定陸上競技場で、使用実績の多い国産材料のメーカー製品を使用する。
- a-iii) ウレタン材は、特化則対応（TDI）とする。
- a-iv) ポリウレタン樹脂の物性については、試験機関又はメーカー試験による試験成績書を提出し、監督員の承認を得なければならない。
- a-v) 耐候性については、屋外暴露試験に依る評価を原則とする。ただし、期間的に不可能な場合は、JIS A-1415に規定する促進試験をもって判定資料とする。
- a-vi) 工事に使用する舗装材の品質については、下記の『ポリウレタン系表層材品質規格表』の基準を満たすものとする。また、本工事は全面改修（切削・オーバーレイ）であるため、舗装材は既存の舗装材（ポリウレタン系舗装）と同等とする。
走路・助走路・半円部分の各ゾーンにおける表面仕上げ及び硬度は、同一とする。
- a-vii) 本競技場でWAのジュニア等の公認基準の記録が発生した際に、記録の公認手続きに支障を生じない製品を使用するものとする。

ポリウレタン系表層材品質規格表

区分	項 目		規格	試験方法
材 料 自 身 の 試 験	硬 度	20℃	40～75	JIS K6253 デュロメーターA
		70℃	20℃の-10%以内	
	引張強度		2.0Mpa以上	JIS K6251
	伸び率		500%以上	JIS K6251
	引裂強度		12 N/mm以上	JIS K6252
	耐摩耗性		600mg以下	JIS K7204 準抛 テーパー法 CS-17・荷重9.8N・1000回転
	耐候性：屋外暴露		ひび割れ、チョーキング、退色などの著しい劣化が生じないこと。	一年間以上屋外南面に暴露または過去に施工された競技場やコートなどの劣化状況判断による。
	耐候性：促進暴露			JIS A1415 WS-A型ウェザーメーター 1,000時間

1－2 施 工

- a) 全天候ウレタン切削オーバーレイ工
- a-i) 既設ウレタン切削工
- ・既存ウレタン舗装の切削にはウレタン切削機を使用し、凹凸が無く規定の厚みになるよう切削を行う。
- a-ii) 水洗い工
- ・ウレタン切削後、スqueeperにて清掃を行う。清掃後オイル及び付着切削粉については、水洗い及び中性洗剤等で除去する。
- a-iii) 不陸整正工
- ・ウレタンオーバーレイに先立ち不陸整正の為、切削後の既存ウレタン表面に水散布を行う。不陸がある場合は耐久層にて修正を行う。
- a-iv) ポリウレタン耐久層工
- ・ポリウレタン樹脂を厚さが均一となるように平坦に敷均す。
 - ・不陸修正は入念に行わなければならない。
- a-v) エンボス仕上げ工
- ・二液性ウレタン樹脂の混合材をスプレー又はローラーにてエンボス状に仕上げる。
- a-vi) トップコート工
- ・耐候性の強化とつや消しによる美観、適度な滑りを与える為に特殊トップコートを塗布して仕上げる。

b) 施工の管理基準

- b-i) ポリウレタン耐久層工
- 〔厚 さ〕：塗布後に、直尺を刺し抜き、直尺に付着したウレタン材の数値を測定する。測点毎で-0.5mm以内、測点全部の平均値は所定の厚さ以上とする。

III・2 注意事項

- 2－1 各工程ともに、硬化時間内に降雨が予想される場合は作業を中止する。
- 2－2 ポリウレタン施工時および硬化中の気温は5℃以上が望ましい。
- 2－3 原材料は通常水分に依る影響を受けやすい為、保管に充分注意しなければならない。
- 2－4 高温・多湿となる場合はポリウレタン樹脂の反応が活発になり、硬化時間の短縮及び微量の水分によるトラブルが発生しやすいので、条件に合った施工体制を取らなければならない。
- 2－5 かし担保期間：複合弾性舗装工の瑕疵担保期間は、下記の通りとする。
- イ) 材質及び施工技術の不備に起因する亀裂・剥離・フクレ・不陸について
・・・・・・・・・・・・・5年
- ロ) 表面、トップコートの摩耗、退色について（競技に支障があると判断される迄）
・・・・・・・・・・・・・4年
- ハ) コースラインの消滅について（競技に支障があると判断される迄）
・・・・・・・・・・・・・3年

IV 付帯施設工事

- IV・1 角石・標石工
- 設計図に依り、真鍮板を正しい位置に堅固に設置する。

- IV・2 水濠改修工
- 設計図に依り、既設の水濠固定障害物を撤去し、水濠固定障害物（男子・女子・U18男子兼用、陸連検定品）を正しく設置する。水濠の深さは、500mmに改修する。

- IV・3 走高跳工
- 図面に依り、支柱台および計測基準台位置を白色ペイントにてマーキングする。

- IV・4 槍投工
- 円弧および助走幅4mの実線ラインを白色ペイントにてマーキングする。
円弧から8mの位置に中心鉄を打ち込む。

- IV・5 レーンマーキング工
- アクリルウレタン塗料を使用し、標識タイル位置図およびレーンマーキング色分け表に依り、トラックのレーンラインおよび助走路ライン等を正確に引く。
WA規程の全天候舗装用レーンマーキング色分け標準表による。

- IV・6 標識タイル工
- 標識タイル位置図に依り、各トラック競技のスタート位置等を示すステンレス製タイルを内圏縁石の内側及びトラック外周ラインの外側に正確に設置する。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()													
工事の種類		☐ 新築工事 ☒ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(改修工事)													
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材													
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数____年 その他()													
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約__0__m その他()													
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容												
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()													
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約__9__m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他()													
	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有 () ☐ 無													
	その他														
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)												
	①仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用												
	②土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用												
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用												
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用												
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用												
	⑥その他 (構造物撤去工)	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用												
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()													
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン													
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>量の見込み</th> <th>使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)</th> </tr> <tr> <td>☒コンクリート塊</td> <td>0.7 トン</td> <td> ☐① ☐② ☐③ ☐④ ☐⑤ ☒⑥ </td> </tr> <tr> <td>☒アスファルト・コンクリート塊</td> <td>0.2 トン</td> <td> ☐① ☐② ☐③ ☐④ ☐⑤ ☒⑥ </td> </tr> <tr> <td>☒建設発生木材</td> <td>0.1 トン</td> <td> ☐① ☐② ☐③ ☐④ ☐⑤ ☒⑥ </td> </tr> </table>	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	☒ コンクリート塊	0.7 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥	☒ アスファルト・コンクリート塊	0.2 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥	☒ 建設発生木材	0.1 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)												
	☒ コンクリート塊	0.7 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥												
	☒ アスファルト・コンクリート塊	0.2 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥												
	☒ 建設発生木材	0.1 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥												
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他															
備考															

積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 全体設計書 当初 03-*****-0004 -10 0 1 実施単価 30 米子市 0-03.07.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 ICT施工有無 週休二日補正係数	06 舗装 01 率計上する（地方部） 19 補正なし 00 通常工事 0％ 01 金銭保証（0.04％） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 00 ICT施工を使用しない 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
全天候型舗装工										Y1999	(レベル1)
					一式						
切削オーバーレイ工										Y2999	(レベル2)
					一式						
ウレタン切削オーバーレイ 走路 エンボス仕上げ										V0101	0
		4,690	m ²							単第0-0001	表 030710
ウレタン切削オーバーレイ Aゾーン エンボス仕上げ										V0105	0
		1,080	m ²							単第0-0005	表 030710
ウレタン切削オーバーレイ Bゾーン エンボス仕上げ										V0106	0
		1,340	m ²							単第0-0006	表 030710
ウレタン切削オーバーレイ メイン側助走路 エンボス仕上げ										V0107	0
		90	m ²							単第0-0007	表 030710
ウレタン切削オーバーレイ バック側助走路 エンボス仕上げ										V0108	0
		258	m ²							単第0-0008	表 030710
ウレタン張替工										Y2999	(レベル2)
					一式						

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
アウトフィールド修繕 棒高跳び支柱台置き場 A=2.0m ² , t=10mm						V0201 0
	4		箇所			単第0-0009 表 030710
アウトフィールド修繕 集水桧付近 A=3.0m ² , t=10mm						V0204 0
	1		箇所			単第0-0011 表 030710
施設整備工						Y1999 (レベル1)
			一式			
スポーツポイント工						Y2999 (レベル2)
			一式			
角石・標石 設置						V0301 0
	16		箇所			単第0-0012 表 030710
レーンライン 設置 8レーン、投てき・跳躍助走路						V0302 0
	1		一式			単第0-0013 表 030710
ポイントマーキング 設置						V0303 0
	1		一式			単第0-0014 表 030710
300mハードル標識 設置						V0304 0
	86		箇所			単第0-0015 表 030710
標識タイル 設置						V0305 0
	560		枚			単第0-0016 表 030710

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
縁石工						Y2999 (レベル2)
			一式			
内圏縁石整備 清掃・調整						V0306 0
	419	m				単第0-0017 表 030710
内圏縁石（抜き差し式） L=5.0m						V0323 0
	1	一式				単第0-0018 表 030710
付帯施設工						Y2999 (レベル2)
			一式			
障害池整備						V0307 0
	1	一式				単第0-0019 表 030710
円盤・ハンマー投げサークル整備						V0325 0
	2	箇所				単第0-0054 表 030710
砲丸投げサークル整備						V0328 0
	3	箇所				単第0-0057 表 030710
砲丸投げ落下域整正 平均3cm						V0331 0
	1	箇所				単第0-0060 表 030710
砂場整備 平均5cm						V0338 0
	1	箇所				単第0-0067 表 030710

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工					Y1999 (レベル1)
		一式			
構造物取壊し工					Y2999 (レベル2)
		一式			
ウレタン撤去 t=10mm					V0202 0
	11	m ²			単第0-0021 表 030710
スポーツポイント撤去工					Y2999 (レベル2)
		一式			
角石・標石 撤去					V0339 0
	16	個			単第0-0068 表 030710
標識タイル 撤去					V0340 0
	698	枚			単第0-0069 表 030710
砲丸落下域ライン 撤去					V0341 0
	36	m			単第0-0070 表 030710
運搬処理工					Y2999 (レベル2)
		一式			
殻運搬					Y3999 (レベル3)
		m ³			

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	15	m3			SPK20040146 0 A=2, B=4, C=2, D=57, E=1 単第0-0071 表 030710
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離7.0km以下(6.0km超)	0.3	m3			SPK20040146 0 A=1, B=1, C=2, D=33, E=1 単第0-0072 表 030710
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	0.1	m3			SPK20040146 0 A=2, B=4, C=2, D=57, E=1 単第0-0071 表 030710
現場発成品・支給品運搬 クレーン装置付2t級2t吊 片道運搬距離9.0km以下(5.0km超)	1	回			SPK2004015 0 A=1, B=3, C=1 単第0-0073 表 030710
現場発成品・支給品運搬 クレーン装置付2t級2t吊 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超)	1	回			SPK2004015 0 A=1, B=4, C=1 単第0-0074 表 030710
殻処分		m 3			Y3999 (レベル3)
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1	0.1	t			TTU0052 0 030710
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 廃プラスチック処理 (有)山陰クリエート	15	m 3			TTV0440 0 030710

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	処分費 コンクリート殻（無筋） 有大成商事									TTV0441	0
		0.7	t								030710
	処分費 アスファルト殻 カネックス株									TTV0442	0
		0.2	t								030710
	処分費 木くず 有大成商事									TTV0443	0
		0.1	t								030710
仮設工										Y1999	(レベル1)
					一式						
仮設工										Y2999	(レベル2)
					一式						
	鋼板（賃料） 22*914*1829 供用150日									V0346	0
		20	枚							単第0-0075	表 030710
直接工事費											
運搬費										Z0004	
	仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等) 運搬 運搬距離 2 km 製品長 12m以内									S1000007	0
		1	一式							A=2, B=1, C=1, D=1, E=7, F=1, H=1, J=1, L=3	単第0-0077 表 030710

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
** 共通仮設費計 **						
** 純工事費 **						
現場管理費						
** 工事原価 **						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事価格											
消費税相当額											
工事費計											

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン舗装切削 t=2mm	1	m ²			V0102 単第0-0002 表
ウレタンオーバーレイ t=3mm エンボス仕上げ レンガ色	1	m ²			V0103 単第0-0003 表
トップコート	1	m ²			V0104 単第0-0004 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m ²			

ウレタン舗装切削
t=2mm

V0102

施 工 単 価 表

単第0-0002 表

頁0-0011

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊機械損料 ウレタン切削機	0.25	台			W0001
土木一般世話役	0.6	人			RTPC00009
特殊作業員	1.0	人			RTPC00001
普通作業員	2.5	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上塗りウレタン材 t=2mm	260	k g			W0001 1
エンボス材 t=1mm	130	k g			W0001 1
消耗品・雑費	5	%			#01 材料×5% 1
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009
特殊作業員	6.0	人			RTPC00001
普通作業員	4.0	人			RTPC00002
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トップコート材	28	k g			W0001 1
副資材	15	%			#01
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009
特殊作業員	1.0	人			RTPC00001
普通作業員	1.5	人			RTPC00002
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン舗装切削 t=2mm	1	m ²			V0102 単第0-0002 表
ウレタンオーバーレイ t=3mm エンボス仕上げ レンガ色	1	m ²			V0103 単第0-0003 表
トップコート	1	m ²			V0104 単第0-0004 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン舗装切削 t=2mm	1	m ²			V0102 単第0-0002 表
ウレタンオーバーレイ t=3mm エンボス仕上げ レンガ色	1	m ²			V0103 単第0-0003 表
トップコート	1	m ²			V0104 単第0-0004 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m ²			

ウレタン切削オーバーレイ
メイン側助走路 エンボス仕上げ

V0107

施 工 単 価 表

単第0-0007 表

頁0-0016

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン舗装切削 t=2mm	1	m ²			V0102 単第0-0002 表
ウレタンオーバーレイ t=3mm エンボス仕上げ レンガ色	1	m ²			V0103 単第0-0003 表
トップコート	1	m ²			V0104 単第0-0004 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m ²			

ウレタン切削オーバーレイ
バック側助走路 エンボス仕上げ

V0108

施 工 単 価 表

単第0-0008 表
1 m² 当り
頁0-0017

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン舗装切削 t=2mm	1	m ²			V0102 単第0-0002 表
ウレタンオーバーレイ t=3mm エンボス仕上げ レンガ色	1	m ²			V0103 単第0-0003 表
トップコート	1	m ²			V0104 単第0-0004 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリウレタン舗装 t=10mm 緑色	2.0	㎡			V0203 単第0-0010 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

ポリウレタン舗装
t=10mm 緑色

V0203

施 工 単 価 表

単第0-0010 表

頁0-0019

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン材 t=10mm	100	m ²			W0001
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009
特殊作業員	6.0	人			RTPC00001
普通作業員	3.0	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

アウトフィールド修繕 集水桧付近		V0204 A=3.0㎡, t=10mm		施 工 単 価 表		単第0-0011 表		1		箇所 当り		頁0-0020	
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考							
ポリウレタン舗装 t=10mm 緑色		3.0	㎡			V0203 単第0-0010 表							
*** 単位当たり ***		1	箇所										

角石・標石
設置

V0301

施 工 単 価 表

単第0-0012 表

頁0-0021

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
真鍮板 マイナス 35×35×5	10	枚			W0001
土木一般世話役	2.0	人			RTPC00009
特殊作業員	3.0	人			RTPC00001
副資材 樹脂混入モルタル等	1	式			W0001
*** 合計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

レーンライン
設置 8レーン、投てき・跳躍助走路

V0302

施 工 単 価 表

単第0-0013 表
1 式 当り
頁0-0022

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アクリルウレタン樹脂塗装 白 ロスを含む	120	k g			W0001 1
土木一般世話役	4.89	人			RTPC00009
特殊作業員	9.77	人			RTPC00001
普通作業員	97.7	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

ポイントマーキング
設置

V0303

施 工 単 価 表

単第0-0014 表

頁0-0023

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アクリルウレタン樹脂塗装 各色 ロスを含む	13.0	k g			W0001 1
土木一般世話役	4.08	人			RTPC00009
特殊作業員	7.48	人			RTPC00001
普通作業員	29.92	人			RTPC00002
型枠損料 搬入～整備	1	式			W0001
諸雑費	15	%			#01 1
*** 単位当たり ***	1	一式			

300mハードル標識
設置

V0304

施 工 単 価 表

単第0-0015 表

頁0-0024

100 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポイント	100	個			W0001 1
マーキング材	1	式			W0001 1
土木一般世話役	0.65	人			RTPC00009
特殊作業員	4.0	人			RTPC00001
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

標識タイル
設置

V0305

施 工 単 価 表

単第0-0016 表

頁0-0025

100 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
標識タイル ステンレス角台型	100	枚			W0001 1
副資材	1	式			W0001
土木一般世話役	0.65	人			RTPC00009
特殊作業員	5.9	人			RTPC00001
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	100	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

内圈縁石整備
清掃・調整

V0306

施 工 単 価 表

単第0-0017 表

頁0-0026

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.7	人			RTPC00009
特殊作業員	2.1	人			RTPC00001
普通作業員	2.6	人			RTPC00002
諸経費 ボルト、ナット類等	1	式			W0001
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

内圏縁石（抜き差し式）
L=5.0m

V0323

施 工 単 価 表

単第0-0018 表
1 式 当り
頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内圏縁石（抜き差し式） L=2.3m ケーシングパイプ共	1	箇所			W0001
内圏縁石（抜き差し式） L=2.7m ケーシングパイプ共	1	箇所			W0001
土木一般世話役	0.125	人			RTPC00009
特殊作業員	0.75	人			RTPC00001
普通作業員	0.5	人			RTPC00002
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	4	m			SPK20040308 単第0-0020 表
ウレタン撤去 t=10mm	1	m ²			V0202 単第0-0021 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cmを超え10cm以下	1	m ²			SPK20040307 単第0-0023 表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	1	m ³			SPK20040015 単第0-0024 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	1	m ³			SPK20040019 単第0-0025 表
残土処分 場内処理	1	m ³			V0347 単第0-0026 表
舗装復旧工 10-30-40-80-150	1	m ²			V0308 単第0-0029 表
既設障害池 撤去工	1	一式			V0309 単第0-0034 表
障害池 改修工	1	一式			V0315 単第0-0041 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

単第0-0020 表

1

m 当り

SPK20040308

アスファルト舗装版厚15cm以下

舗装版切断

アスファルト舗装版

機械構成比： 6.29% 労務構成比： 54.24% 材料構成比： 39.47% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.25%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ(56cm)	36.63%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン レギュラー スタンド	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.5	人			RTPC00009
特殊作業員	1.5	人			RTPC00001
普通作業員	2.0	人			RTPC00002
バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3(平0.2) 排出ガス対策型1次基準	1.0	日			S9042 単第0-0022 表
諸雑費	1	式			#91 1
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

頁0-0032

バックホウ運転

S9042

単第0-0022 表

クローラ[標準]山積0.28m3(平0.2)

排出ガス対策型1次基準

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	39.69	L			TTPC00013
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.28/平積0.2m3	1.00	供用日			MTPC00009
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 クローラ[標準]山積0.28m3(平0.2) C=2 排出ガス対策型1次基準 E=1 運転労務数量 (人/日) G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 岩石工損料割増 無し D=39.69 軽油消費量 (L/日) F=1 機械損料数量 (供用日/日)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.63%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.44%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=5 舗装版厚4cmを超え10cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害有り F=1 積込作業有り		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	22.42%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
特殊運転手	37.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.45%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	10.14%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ 質量60～80kg	0.66%		ランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	17.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3.37%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.62%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

残土処分
場内処理

V0347

施 工 単 価 表

単第0-0026 表

頁0-0036

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離0.2km以下	1	m3			SPK20040002 単第0-0027 表
人力盛土（埋戻し） 粘性土・砂・砂質土・埴質土	1	m 3			V0348 単第0-0028 表
*** 単位当たり ***	1	m 3			

施 工 単 価 表

単第0-0027 表

1 m3 当り

土砂等運搬

SPK20040002

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離0.2km以下

機械構成比： 26.28% 労務構成比： 61.34% 材料構成比： 12.38% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.28%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	61.34%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	12.38%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=1 距離0.2km以下			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

人力盛土（埋戻し）
粘性土・砂・砂質土・砂質土

V0348

施 工 単 価 表

単第0-0028 表

頁0-0038

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	2.3	人			RTPC00002
*** 合計 ***	10	m 3			
*** 単位当たり ***	1	m 3			

舗装復旧工
10-30-40-80-150

V0308

施 工 単 価 表

単第0-0029 表
1 m² 当り
頁0-0039

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリウレタン舗装 t=10mm 緑色	1	m ²			V0203 単第0-0010 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚 3 0 mm	1	m2			SPK20040241 単第0-0030 表
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚 4 0 mm	1	m2			SPK20040239 単第0-0031 表
上層路盤(車道・路肩部) M-30 全仕上り厚 8 0 mm 1層施工	1	m2			SPK20040234 単第0-0032 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚 1 5 0 mm 1層施工 C-40	1	m2			SPK20040232 単第0-0033 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

頁0-0040

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0-0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚 3 0 mm

1

m2 当り

機械構成比： 0.52%

労務構成比： 45.01%

材料構成比： 54.47%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ(舗装用) 運転質量0.5～0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 運転質量40～60kg	0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 密粒度 (1 3)	52.65%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD00030 TTPT00284
アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用	1.64%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=2 密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ(舗装用) 運転質量0.5～0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 運転質量40～60kg	0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.95%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.26%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 粗粒度 (20)	47.69%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0037 TTPT00281
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	4.99%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

1

SPK20040239

材料構成比： 52.87%

標準単価：

機械構成比： 0.54%

46. 59%

材料構成比：

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

米子市

施 工 単 価 表

単第0-0032 表

1

m2 当り

上層路盤(車道・路肩部)

SPK20040234

M-30

全仕上り厚 8 0 mm 1層施工

機械構成比： 10.44% 労務構成比： 30.39% 材料構成比： 59.17% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ ブレード幅3.1m	4.22%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ 運転質量10t締固め幅2.1m	3.27%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ 8～20 t	1.07%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
粒度調整碎石 M- 3 0	56.36%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0021 TTPT00357
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=6 H=1	M-30 -(全ての費用)		E=80 全仕上り厚(mm)		

施 工 単 価 表

頁0-0046

単第0-0033 表

1

m2 当り

SPK20040232

C-40

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚 1 5 0 mm 1層施工

機械構成比： 5.24% 労務構成比： 15.30%

材料構成比： 79.46%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ ブレード幅3.1m	2.12%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ 運転質量10t締固め幅2.1m	1.64%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ 8～20 t	0.53%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	7.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.47%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
クラッシャーラン C-40	78.05%		クラッシャーラン 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00005 TTPT00346
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.16%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=2 C-40		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設障害バー 撤去	1	一式			V0310 単第0-0035 表
縁石 撤去 鋼材50□5.3m	1	一式			V0311 単第0-0036 表
側壁天端コンクリート 撤去	1	一式			V0312 単第0-0037 表
壁面防水モルタル 撤去	1	一式			V0313 単第0-0039 表
給排水BOX 撤去	1	一式			V0314 単第0-0040 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009
特殊作業員	2.5	人			RTPC00001
普通作業員	1.5	人			RTPC00002
*** 単位当たり ***	1	一式			

縁石
撤去 鋼材50□5.3m

V0311

施 工 単 価 表

単第0-0036 表

頁0-0050

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009
特殊作業員	0.5	人			RTPC00001
普通作業員	0.5	人			RTPC00002
*** 単位当たり ***	1	一式			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートはつり 平均はつり厚3cmを超え6cm以下	4	m2			SPK20040112 単第0-0038 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

機械構成比：	1.64%	勞務構成比：	94.61%	材料構成比：	3.75%	市場単価構成比：	0.00%	標準単価：
--------	-------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------

03-*****-0004 -10

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=2 平均はつり厚3cmを超え6cm以下			B=1 -(全ての費用)		

壁面防水モルタル
撤去

V0313

施 工 単 価 表

単第0-0039 表

頁0-0054

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートはつり 平均はつり厚3cmを超え6cm以下	5	m2			SPK20040112 単第0-0038 表
*** 単位当たり ***	1	一式			

給排水BOX
撤去

V0314

施 工 単 価 表

単第0-0040 表

頁0-0055

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009
特殊作業員	0.5	人			RTPC00001
普通作業員	0.25	人			RTPC00002
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

V0315

単第0-0041 表

1 式 当り

障害池
改修工

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.5	m3			SPK20040148 単第0-0042 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.1	m2			SPK20040150 単第0-0043 表
溶接金網設置工	3.2	m ²			V0316 単第0-0044 表
防水モルタル塗り 壁	4.1	m ²			V0317 単第0-0045 表
防水塗装	4.1	m ²			V0318 単第0-0047 表
ビット柵蓋 設置	1	一式			V0319 単第0-0048 表
ウレタン舗装 スムーズ仕上げ t=25mm	4.6	m ²			V0320 単第0-0049 表
ウレタン切削オーバーレイ 走路 エンボス仕上げ	14.6	m ²			V0101 単第0-0001 表
水濠固定障害物 3段調整式 設置	1	一式			V0321 単第0-0050 表
縁石（固定用プレート式）	1	一式			V0322 単第0-0051 表
給水栓 設置	1	一式			V0324 単第0-0052 表
諸雑費	1	式			#91

障害池
改修工

V0315

施 工 単 価 表

単第0-0041 表

頁0-0057

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***	1	一式			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	25.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.76%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	55.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	45.22%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	2.0	人			RTPC00002
溶接金網 6.0mm×150mm×150mm	100	m ²			W0001
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

防水モルタル塗り
壁

V0317

施 工 単 価 表

単第0-0045 表

頁0-0061

10 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官	1.5	人			R0350
普通作業員	0.18	人			RTPC00002
モルタル練 高炉 混合比1:2	0.2	m ³			SPK20040149 単第0-0046 表
防水剤 マノール防水剤	2	k g			W0001 建設物価R3.07.P120:全国
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	10	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	61.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント (高炉B) 2 5 k g 袋入	28.46%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
砂細目(洗い) コンクリート用	9.92%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水塗装 弱溶性一液架橋型NADウレタン樹脂塗装 ダイナロックⅢ（ブルー）	0.25	kg			W0001
土木一般世話役	0.1	人			RTPC00009
塗装工	0.226	人			RTPC00013
*** 単位当たり ***	1	m ²			

ビット樹蓋
設置

V0319

施 工 単 価 表

単第0-0048 表

頁0-0064

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビット樹蓋 SUS 300×164×205	1	枚			W0001
土木一般世話役	0.1	人			RTPC00009
特殊作業員	0.3	人			RTPC00001
普通作業員	0.3	人			RTPC00002
*** 単位当たり ***	1	一式			

ウレタン舗装
スムーズ仕上げ t=25mm

V0320

施 工 単 価 表

単第0-0049 表

頁0-0065

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン材 フルウレタン t=25mm	100	m ²			W0001 1
土木一般世話役	2.0	人			RTPC00009
特殊作業員	9.0	人			RTPC00001
普通作業員	5.0	人			RTPC00002
諸雑費	5	%			#01 1
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

水濠固定障害物 3段調整式
設置

V0321

施 工 単 価 表

単第0-0050 表
1 式 当り
頁0-0066

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
障害バー 3段調整式	1	式			W0001
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009
特殊作業員	5.0	人			RTPC00001
普通作業員	3.0	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
緑石 固定用プレート式 SUS アンカー共	3.8	m			W0001
土木一般世話役	0.1	人			RTPC00009
特殊作業員	0.55	人			RTPC00001
普通作業員	0.4	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

給水栓
設置

V0324

施 工 単 価 表

単第0-0052 表

頁0-0068

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水栓BOX JICボックスφ350NS	1	箇所			W0001
小型伸縮式回転バルブ 25A	1	箇所			W0001
配管工	0.09	人			RTPC00022
諸雑費	1	式			W0001
普通作業員	0.08	人			RTPC00002
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.4	m2			SPK20040039 単第0-0053 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 山積0.8m3	6.15%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	14.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン RC-40	13.22%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.12%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

施 工 単 価 表

単第0-0054 表

V0325

円盤・ハンマー投げサークル整備

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
円盤・ハンマー投げサークル枠整備	1	箇所			V0326 単第0-0055 表
円盤・ハンマー投げサークル蓋新設 4分割 t=20mm	1	箇所			V0327 単第0-0056 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.15	人			RTPC00002
塗装工	0.2	人			RTPC00013
副資材 塗料他	1	式			W0001
*** 単位当たり ***	1	箇所			

円盤・ハンマー投げサークル蓋新設
4分割 t=20mm

V0327

施 工 単 価 表

単第0-0056 表

頁0-0073

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン材 フルウレタン t=20mm	1	箇所			W0001
土木一般世話役	0.1	人			RTPC00009
特殊作業員	0.45	人			RTPC00001
普通作業員	0.25	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

砲丸投げサークル整備

V0328

施 工 単 価 表

単第0-0057 表

頁0-0074

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砲丸投げサークル枠整備	1	箇所			V0329 単第0-0058 表
砲丸投げサークル蓋新設 4分割 t=20mm	1	箇所			V0330 単第0-0059 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

砲丸投げサークル枠整備

V0329

施 工 単 価 表

単第0-0058 表

頁0-0075

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.15	人			RTPC00002
塗装工	0.2	人			RTPC00013
副資材 塗料他	1	式			W0001
*** 単位当たり ***	1	箇所			

砲丸投げサークル蓋新設
4分割 t=20mm

V0330

施 工 単 価 表

単第0-0059 表

頁0-0076

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウレタン材 フルウレタン t=20mm	1	箇所			W0001 1
土木一般世話役	0.1	人			RTPC00009
特殊作業員	0.35	人			RTPC00001
普通作業員	0.18	人			RTPC00002
諸雑費	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	箇所			

砲丸投げ落下域整正
平均3cm

V0331

施 工 単 価 表

単第0-0060 表

頁0-0077

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層耕起工 t=30cm程度	156	m ²			V0332 単第0-0061 表
不陸整正 補充土平均t=3cm	156	m ²			V0333 単第0-0063 表
表面処理工 スポーツ用バインダー	156	m ²			V0336 単第0-0065 表
砲丸落下域ライン張 設置	36	m			V0337 単第0-0066 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

表層耕起工
t=30cm程度

V0332

施 工 単 価 表

単第0-0061 表

頁0-0078

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラクタ 1t級	0.32	時間			V0334 単第0-0062 表
特殊作業員	0.06	人			RTPC00001
普通作業員	0.06	人			RTPC00002
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

トラクタ
1t級

V0334

施 工 単 価 表

単第0-0062 表

頁0-0079

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.21	人			RTPC00001
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.3	L			TTPC00013
トラクタ 機械質量1t級	1.0	時間			MK004
*** 単位当たり ***	1	時間			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラクタ 1t級	0.32	時間			V0334 単第0-0062 表
振動ローラ（未排対） ハッドガイト式・質量0.8～1.1t	1	時間			V0335 単第0-0064 表
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009
特殊作業員	2.7	人			RTPC00001
普通作業員	3.3	人			RTPC00002
グラント舗装材料 グリーンストーン	4	m 3			W0001 建設物価R3.07.P777:大阪
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.2	人			RTPC00001
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.2	L			TTPC00013
振動ローラ（舗装用） 運転質量0.8～1.1t	1	時間			M1716
*** 単位当たり ***	1	時間			

表面処理工
スポーツ用バインダー

V0336

施 工 単 価 表

単第0-0065 表

頁0-0082

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊舗装材グラント舗装材料 スポーツ用バインダー 1.0kg/m ²	100	k g			W0001 積算資料R3.07.P338:中国
普通作業員	0.06	人			RTPC00002
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

砲丸落下域ライン張
設置

V0337

施 工 単 価 表

単第0-0066 表

頁0-0083

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ラインテープ 釘共	100	m			W0001
土木一般世話役	0.2	人			RTPC00009
特殊作業員	0.2	人			RTPC00001
普通作業員	0.7	人			RTPC00002
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

砂場整備
平均5cm

V0338

施 工 単 価 表

単第0-0067 表

頁0-0084

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂場用 補充砂（細目荒砂） { (8×3) + (8×5.55) } ×2/4×0.05	17.1	m 3			W0001
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009
特殊作業員	1.2	人			RTPC00001
普通作業員	1.2	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

角石・標石
撤去

V0339

施 工 単 価 表

単第0-0068 表

頁0-0085

10 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.2	人			RTPC00002
*** 合計 ***	10	個			
*** 単位当たり ***	1	個			

標識タイル
撤去

V0340

施 工 単 価 表

単第0-0069 表

頁0-0086

100 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009
特殊作業員	3	人			RTPC00001
*** 合計 ***	100	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

砲丸落下域ライン
撤去

V0341

施 工 単 価 表

単第0-0070 表

頁0-0087

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.1	人			RTPC00002
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)		B=1 D=33	機械積込 運搬距離7.0km以下(6.0km超)	

施 工 単 価 表

単第0-0073 表

1

回 当り

現場発生品・支給品運搬

SPK20040415

片道運搬距離9.0km以下(5.0km超)

クレーン装置付2t級2t吊

機械構成比： 12.99%

労務構成比：

81.99%

材料構成比：

5.02%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t	12.99%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.57%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.02%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付2t級2t吊 C=1 1回当り平均積載質量0.1t以下			B=3 片道運搬距離9.0km以下(5.0km超)		

現場発生品・支給品運搬
クレーン装置付2t級2t吊
機械構成比：13.00% 労務構成比：81.97% 材料構成比：5.03% 市場単価構成比：0.00% 標準単価：1
SPK20040415 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超)

施工単価表

単第0-0074 表 1 回 当り 頁0-0091

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t	13.00%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付2t級2t吊 C=1 1回当り平均積載質量0.1t以下			B=4 片道運搬距離14.0km以下(9.0km超)		

鋼板（賃料） 22*914*1829
供用150日

V0346

施 工 単 価 表

単第0-0075 表
1 枚 当り
頁0-0092

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板賃料 22×914×1829, 289kg/枚 賃貸期間 1 5 0 日	1	枚			S1050029 単第0-0076 表
*** 単位当たり ***	1	枚			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(賃料)鉄板 22×914×1829, 289kg/枚 180日以内	150.000	枚・日			K0100043
(賃料)鉄板 22×914×1829, 289kg/枚 整備費	1.000	枚			K0100049
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 C=150	22×914×1829, 289kg/枚 敷鉄板賃貸期間（日）		B=1 D=2	賃料 整備費有り	

施 工 単 価 表

単第0-0077 表

1 式 当り

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 S1000007
運搬距離 2 km 製品長 12m以内

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 運搬距離 2 km 製品長 12m以内 運搬質量 7 t	1. 000	一式			S1000009 単第0-0078 表
積込み, 取卸しに要する費用	1. 000	一式			S1000009 単第0-0079 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=2 運搬距離(km) C=1 - E=7 運搬質量(t)			B=1 12m以内 D=1 - F=1 -		
H=1 - L=3 現場積込み, 基地取卸し			J=1 -		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1. 000	一式			JU001
t当り基本運賃	7. 000	t			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=2 運搬距離(km) D=7 運搬質量(t)		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積込み費（現場）	7.000	t			KR00E008
仮設材取卸し費（基地）	7.000	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 積込み, 取卸しに要する費用 K=3 現場積込み, 基地取卸し			D=7 運搬質量(t)		

1. 数量集計表

数量集計表

[illegible]

数量集計表

[illegible]

数量集計表

[illegible]

撤去構造物集計表

名 称	単位	数 量	Coガラ (m ³)		Asガラ (m ³)		ゴムシート(m ³)		ウレタン切削屑(m ³)		木材 (m3)			
			単位当り	計	単位当り	計	単位当り	計	単位当り	計	単位当り	計		
ウレタン切削・オーバーレイ-1	m ²	7463.8							0.002	14.93				
ウレタン切削・オーバーレイ-2	m ²	14.6							0.002	0.03				
全天候舗装撤去	m ²	11.0					0.01	0.11						
障害池整備	式	1.0	0.25	0.25	0.07	0.07	0.01	0.01			0.06	0.06		
角石・標石撤去	式	1.0												
標識タイル撤去	式	1.0												
計算値				0.25		0.07		0.12		14.96		0.06		
計				0.3		0.1		0.1		15.0		0.1		

鉄くず処分集計表

水濠改修(撤去)

1箇所当たり

名 称	規格	単位	重量	摘要
水濠障害バー撤去	ステンレス	t	0.083	1基当たり83kg
角パイプ	50 [□] -3.2	t	0.024	5.3m×4.5kg/m=23.9kg

撤去工

1式当たり

名 称	規格	単位	重量	摘要
角石・標石撤去	真鍮板, 16箇所/式	t	0.001	1箇所当たり65g
標識タイル撤去	SUS304, 698枚/式	t	0.023	1枚当たり33g

合計 $\Sigma t = 0.131 \text{ t}$
 $\Sigma m3 = 0.131 \div 0.55 = 0.24m3$

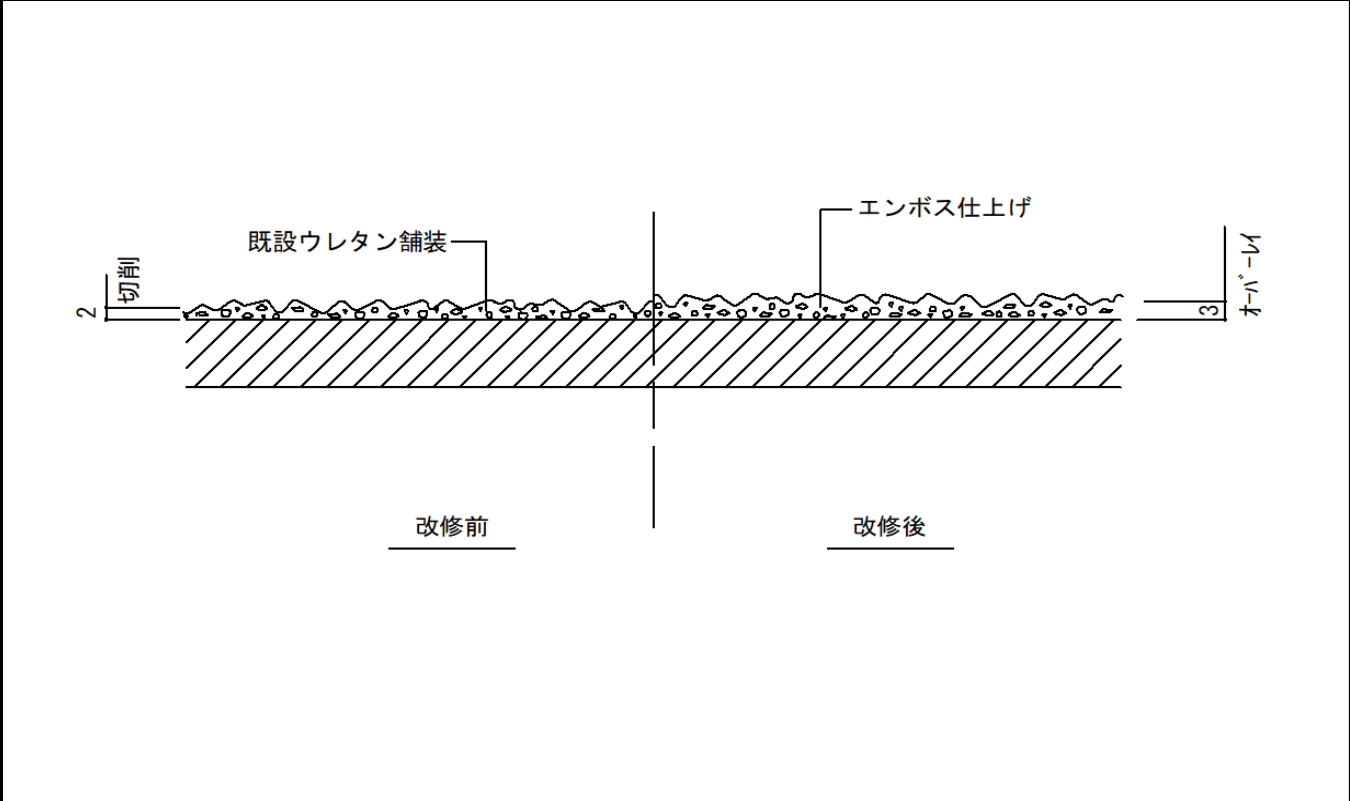
2. 材 料 計 算 書

材 料 計 算 書

名称：ウレタン切削・オーバーレイ-1 100㎡ 当り

名称：ウレタン切削・オーバーレイ-1 100㎡ 当り

算式根拠となる構造図

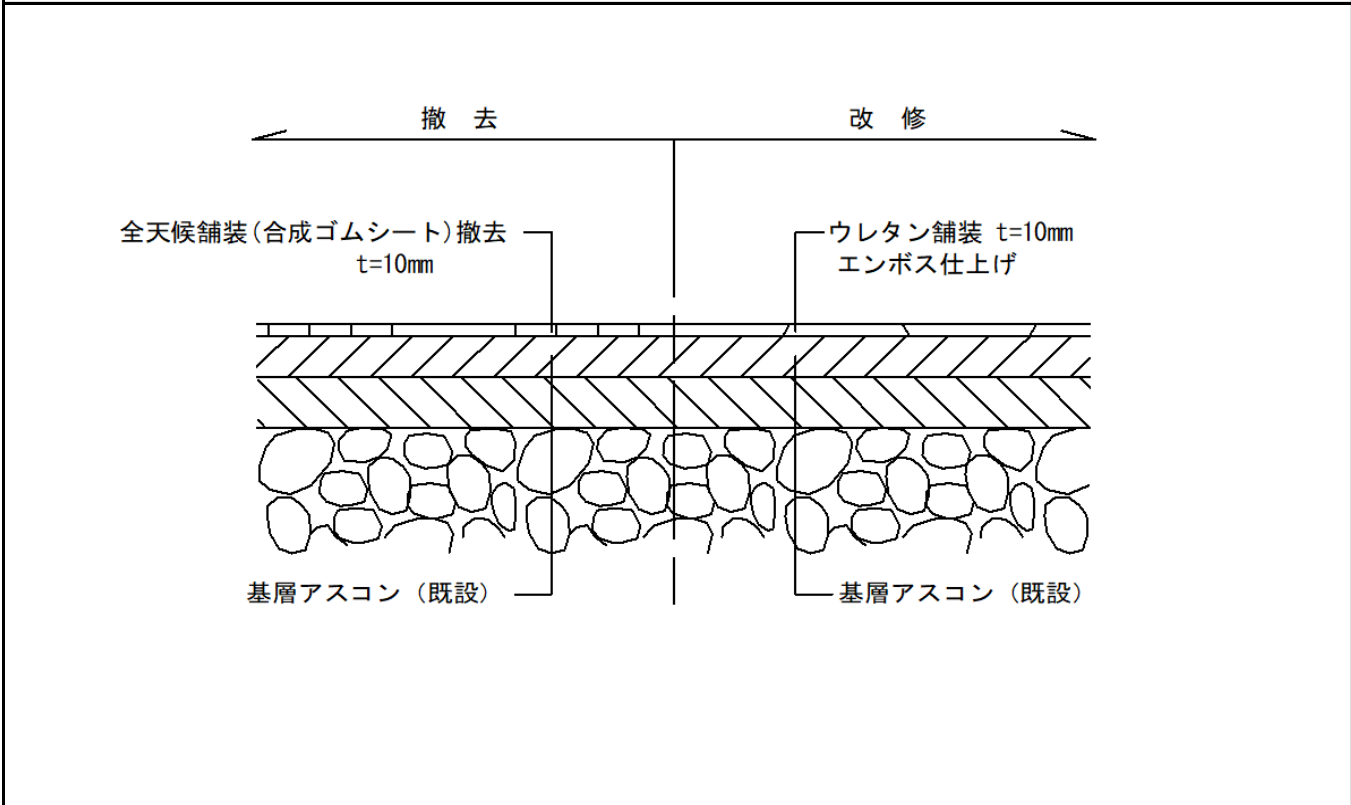
[illegible]

材 料 計 算 書

名称: ウレタン舗装-1(張替)	100m ² 当り
------------------	----------------------

名称: ウレタン舗装-1(張替)	100m ² 当り
------------------	----------------------

算式根拠となる構造図

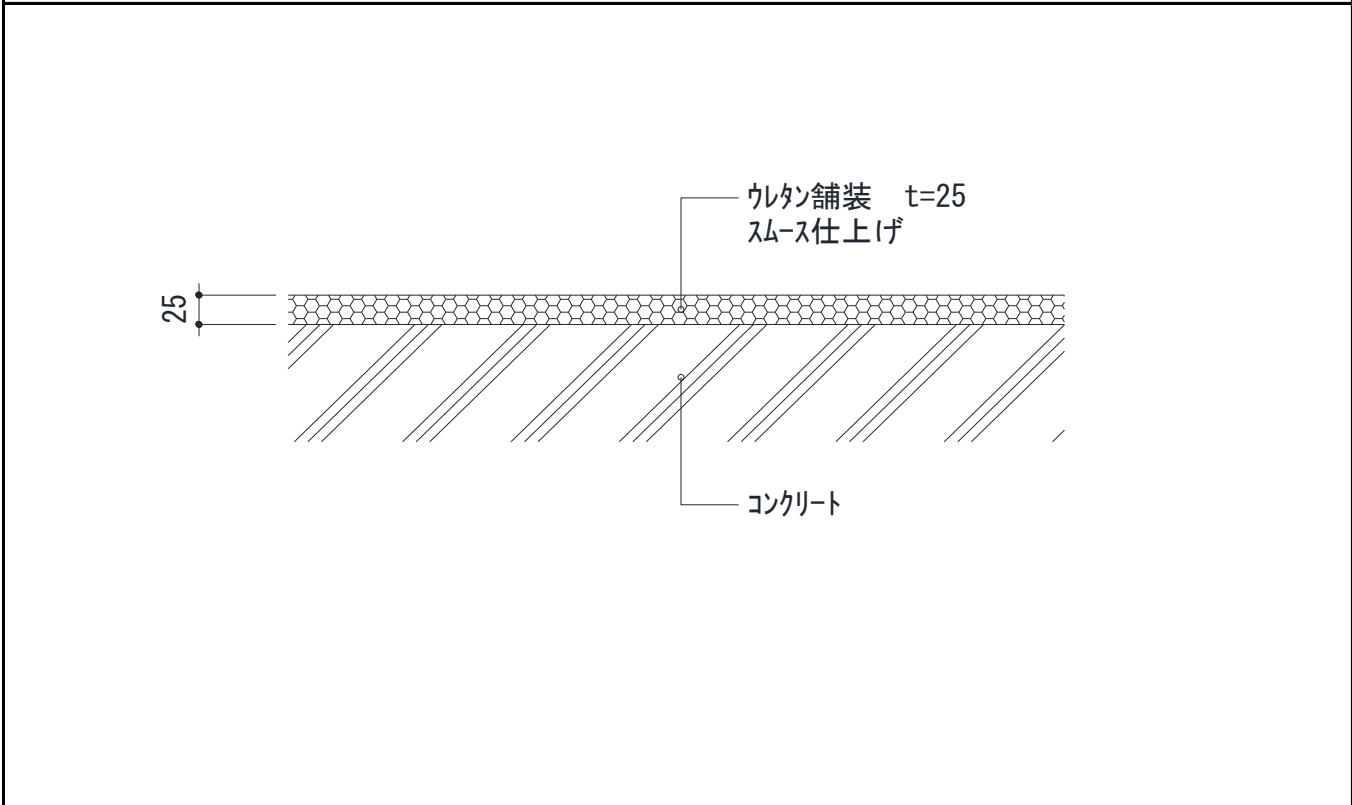
[illegible]

材 料 計 算 書

名称: ウレタン舗装-2(水濠)	100m ² 当り
------------------	----------------------

名称: ウレタン舗装-2(水濠)	100m ² 当り
------------------	----------------------

算式根拠となる構造図

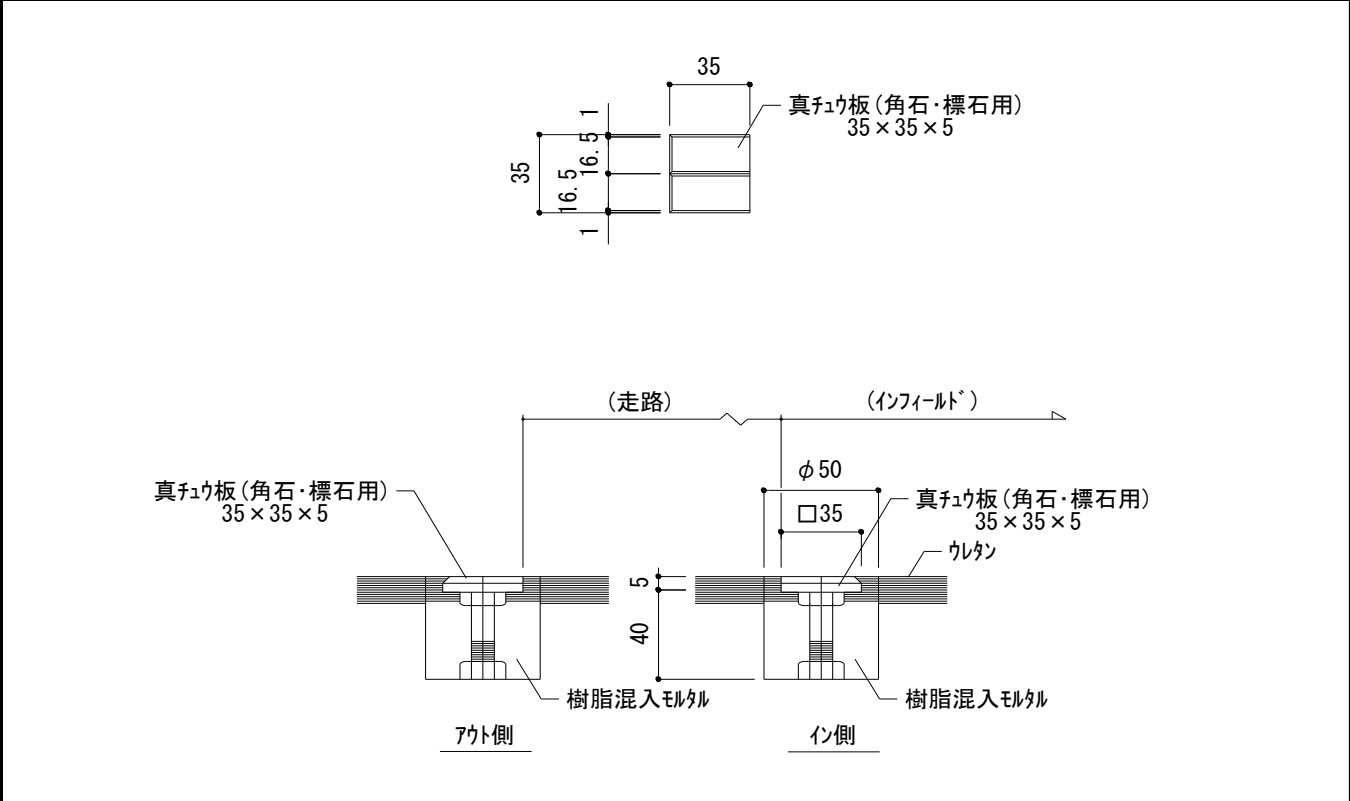
[illegible]

材 料 計 算 書

名称: 角石・標石 100箇所 当り

名称：角石・標石 100箇所 当り

算式根拠となる構造図

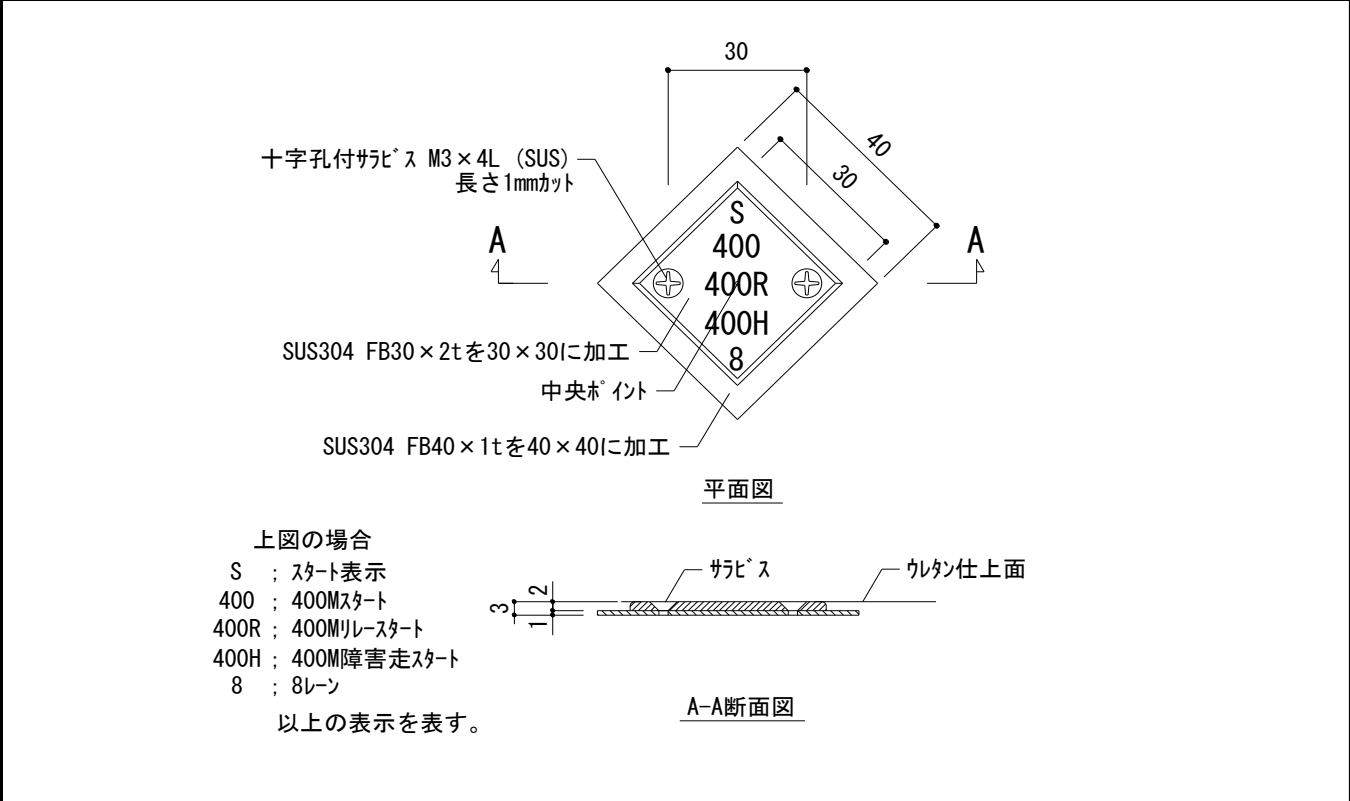
[illegible]

材 料 計 算 書

名称：標識タイル	1式 当り
----------	-------

名称：標識タイル	1式 当り
----------	-------

算式根拠となる構造図



十字孔付サビ°ス M3×4L (SUS)
長さ1mmカット

A

S
400
400R
400H
8

SUS304 FB30×2tを30×30に加工

中央ホ°イント

SUS304 FB40×1tを40×40に加工

平面図

上図の場合

S ; スタート表示
400 ; 400Mスタート
400R ; 400Mリリーススタート
400H ; 400M障害走スタート
8 ; 8レーン

以上の表示を表す。

A-A断面図

十字孔付サビ°ス M3×4L (SUS)
長さ1mmカット

A

S
400
400R
400H
8

SUS304 FB30×2tを30×30に加工

中央ホ°イント

SUS304 FB40×1tを40×40に加工

平面図

上図の場合

S ; スタート表示
400 ; 400Mスタート
400R ; 400Mリリーススタート
400H ; 400M障害走スタート
8 ; 8レーン

以上の表示を表す。

A-A断面図

[illegible]

材 料 計 算 書

名称：300mハードル標識工	1式 当り
----------------	-------

名称：300mハードル標識工	1式 当り
----------------	-------

算式根拠となる構造図

標識の設置位置に白ペイントでハードル台数とレーンをペイントする。

レーン

白線

標識(皿バズ)

1 - 1

ハードル台数

レーン(白ペイント高さ2cm×長さ5cm程度)

標識の設置位置に白ペイントでハードル台数とレーンをペイントする。

レーン

白線

標識(皿柵)

1 - 1

ハードル台数

レーン(白ペイント高さ2cm×長さ5cm程度)

標識の設置位置に白ペイントでハードル台数とレーンをペイントする。

レーン

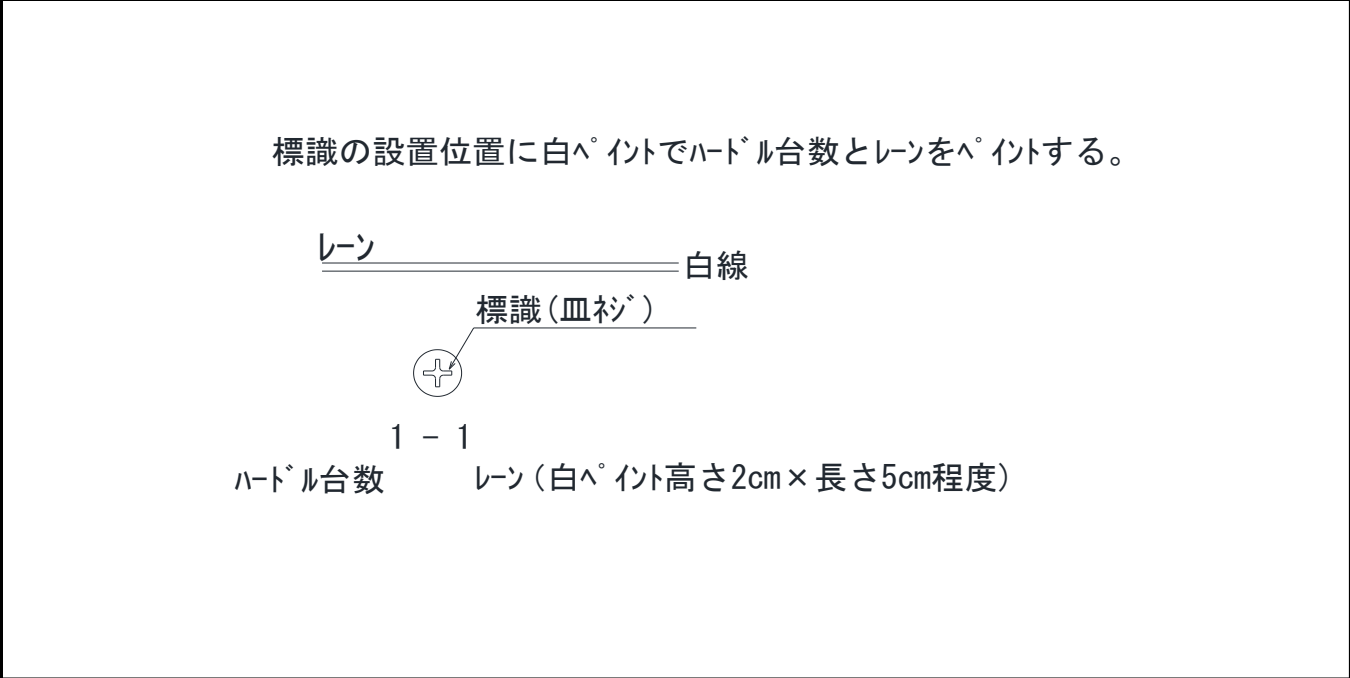
白線

標識(皿バズ)

1 - 1

ハードル台数

レーン(白ペイント高さ2cm×長さ5cm程度)



標識の設置位置に白ペイントでハードル台数とレーンをペイントする。

レーン

白線

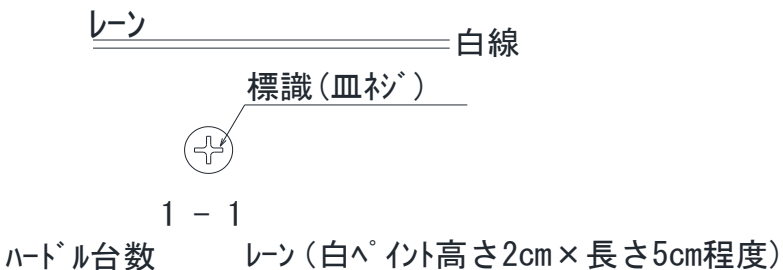
標識(皿バグ)

1 - 1

ハードル台数

レーン(白ペイント高さ2cm×長さ5cm程度)

標識の設置位置に白ペイントでハードル台数とレーンをペイントする。



レーン

白線

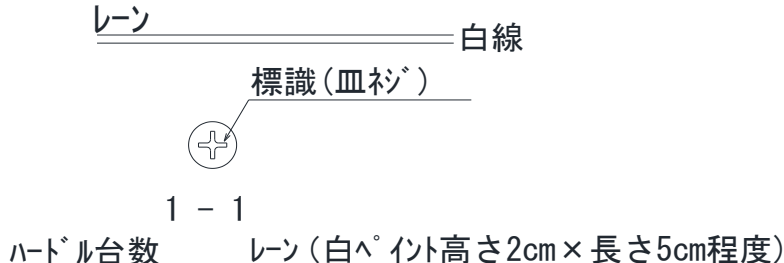
標識(皿シグ)

1 - 1

ハードル台数

レーン(白ペイント高さ2cm×長さ5cm程度)

標識の設置位置に白ペイントでハードル台数とレーンをペイントする。



レーン

白線

標識(皿柵)

1 - 1

ハードル台数

レーン(白ペイント高さ2cm×長さ5cm程度)

[illegible]

レーンマーキング工集計表

1式当り

番号	区 分							備考
		白	青	緑	黄緑	黒	黄色	
		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
1	トラック各レーン	192.895						
	100mスタート付近の実線	4.221						
	100mスタート付近の破線	2.767						
	バック外ライン	1.266						
	水濠付近	5.260						
2	100mスタートライン	0.468						
	スタートレーンNo	1.280						
	スタートライン後方	0.488						
	200mスタートライン	0.468						
	300m、300mHスタートライン	0.468						
	400mスタートライン	0.468						
	1500mスタートライン	0.495						
	110mHスタートライン	0.468						
	フィニッシュライン	0.468						
3	3000mSCのスタートライン	0.475						
4	800mスタートライン	0.308		0.160				
5	800mフレイクライン			0.430				
6	3000・5000mスタートライン	0.525						
	10000スタートライン	0.525						
	3000・5000mグループスタート	0.245						
	10000mグループスタート	0.245						
7	4×400mリレーのスタートライン	0.308	0.160					
8	3000m5000mのグループスタート末端			0.003				
9	フィニッシュライン	1.280				0.008		
10	ハードルの位置 100mH(中学女子)					0.755		
	ハードルの位置 100mH(女子)				0.045		0.791	
	ハードルの位置 110mH		0.875					
	ハードルの位置 400mH			0.871				
11	2000mSC、3000mSCの各ラップタイム用	0.009						
	直線曲線変化点			0.015				
12	障害物競走の移動障害位置		0.125					
13	4×100mリレーのテークオーバーゾーン	0.480					3.495	
小 計		215.879	1.160	1.479	0.045	0.763	4.286	

レーンマーキング工集計表

1式当り

番号	区 分							備考
		白	青	緑	黄緑	黒	黄色	
		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
14	4×400mリレーのテークオーバーゾーン(1-2)入・出		0.760					
15	4×400mリレーのテークオーバーゾーン(2-3)(3-4)入		0.440					
16	走高跳の支柱台	1.913						
17	棒高跳の助走路、支柱台 マーキング	0.978						
18	走幅跳、三段跳の助走路 マーキング	23.920				0.020	0.040	
19	やり投の助走路、円弧 マーキング	6.112						
	砲丸投サークル	0.385						
	兼用サークル	0.523						
小 計		33.831	1.200	0.000	0.000	0.020	0.040	
合 計		249.710	2.360	1.479	0.045	0.783	4.326	

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)							1 式当たり		
番号	名称	規格	算 定 式						単位	数 量	
		□競技場規格 トラック長： 400m バック直走路の有無： 無									
			直走路： 84.390m 110mHスタート後方： 5.000m								
			曲線半径： 36.500m								
			レーン幅： 1.22m レーン数： 8								
			(バック側) 8								
			走高跳び箇所数： 6 箇所 棒高跳び箇所数： 6 箇所								
		砂場数(2レーン以上幅跳用)： 2 箇所 やり投げ箇所数： 2 箇所									
1	トラック各レーン	白		曲走路 (m)			直走路 (m)		延長計 (m)		
		W=50		半径	延長	2箇所	延長	2箇所			
			0レーン	36.475	114.604	229.208	84.390	168.78	397.988		
			1レーン	37.695	118.438	236.876	84.390	168.78	405.656		
			2レーン	38.915	122.271	244.542	84.390	168.78	413.322		
			3レーン	40.135	126.104	252.208	84.390	168.78	420.988		
			4レーン	41.355	129.937	259.874	84.390	168.78	428.654		
			5レーン	42.575	133.771	267.542	84.390	168.78	436.322		
			6レーン	43.795	137.604	275.208	84.390	168.78	443.988		
			7レーン	45.015	141.437	282.874	84.390	168.78	451.654		
			8レーン	46.235	145.27	290.54	84.390	168.78	459.320		
			計						3857.892	m	3857.892
									192.895	m ²	192.895
1	100mスタート付近の実線	白		延長(計測)※	計	箇所数	延長計 (m)				
		W=50		(m)	(m)	メイン・バック					
			0レーン	2.20	7.200	1	7.200				
			1レーン	0.00	0.000	1	0.000				
			2レーン	0.64	0.640	1	0.640				
			3レーン	2.65	2.650	1	2.650				
			4レーン	4.93	4.930	1	4.930				
			5レーン	7.58	7.580	1	7.580				
			6レーン	10.79	10.790	1	10.790				
			7レーン	15.01	15.010	1	15.010				
			8レーン	30.61	35.610	1	35.610				
			計				84.410		m	84.410	
							4.221		m ²	4.221	
			※0・8レーン計測：トラックから110mHスタート後方までの距離								

附帯施設工事			レーンマーキング工 (WA仕様)							1 式当たり	
番号	名称	規格	算 定 式							単位	数 量
				延長(計測)	破線@	実線/箇所	白線延長	箇所数	延長計		
				(m)	(m)	(m)	(m)	メイン・バック	(m)		
1	100mスタート付近の破線	白	0レーン	28.42	1.2	0.4	9.473	1	9.473		
		W=50	1レーン	25.61	1.2	0.4	8.537	1	8.537		
			2レーン	24.97	1.2	0.4	8.323	1	8.323		
			3レーン	22.96	1.2	0.4	7.653	1	7.653		
			4レーン	20.68	1.2	0.4	6.893	1	6.893		
			5レーン	18.03	1.2	0.4	6.010	1	6.010		
			6レーン	14.82	1.2	0.4	4.940	1	4.940		
			7レーン	10.55	1.2	0.4	3.517	1	3.517		
			8レーン	0.00	1.2	0.4	0.000	1	0.000		
			計						55.347	m	55.347
									2.767	m ²	2.767
1	バック外ライン	白	4.77	+	20.55		=	25.320	m	25.320	
		W=50							1.266	m ²	1.266
			計測								
1	水濠付近	白	13.3	+	11.5	+	42.6	+	37.8		
		W=50									
									= 105.200	m	105.200
									5.260	m ²	5.260
			レーン幅		ライン幅		レーン数		箇所数(メイン・バック)		
2	100mスタートライン	白	(1.22	-	0.05	) ×	8	×	1		
		W=50	延長計								
									= 9.360	m	9.360
									0.468	m ²	0.468
			幅		高さ		50%		レーン数		
	スタートレーンNo	白	0.4	×	0.8	×	0.5	×	8		
		(文字)	※文字占有率50%とする								
									= 1.280	m ²	1.280
			箇所								
2	スタートライン後方	白	9.76	×	1		=	9.760	m	9.760	
		W=50							0.488	m ²	0.488

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)							1 式当たり			
番号	名称	規格	算 定 式						単位	数 量		
			レーン幅	ライン幅	レーン数	延長計						
2	200mスタートライン	白	(1.22	-	0.05	) ×	8	=	9.360	m	9.360	
		W=50							0.468	m ²	0.468	
			レーン幅	ライン幅	レーン数	延長計						
2	300m、300mHスタートライン	白	(1.22m	-	0.05	) ×	8	=	9.360	m	9.360	
		W=50							0.468	m ²	0.468	
			レーン幅	ライン幅	レーン数	延長計						
2	400mスタートライン	白	(1.22	-	0.05	) ×	8	=	9.360	m	9.360	
		W=50							0.468	m ²	0.468	
			計測	ライン幅	レーン数	延長計						
2	1500mスタートライン	白	10.3	-	0.05	×	8	=	9.900	m	9.900	
	(B+30°)	W=50							0.495	m ²	0.495	
			レーン幅	ライン幅	レーン数	箇所数(メイン・バック)						
2	110mHスタートライン	白	(1.22	-	0.05	) ×	8	×	1			
		W=50							延長計			
									=	9.360	m	9.360
									0.468	m ²	0.468	
			レーン幅	ライン幅	レーン数	箇所数(メイン・バック)						
2	フィニッシュライン	白	(1.22	-	0.05	) ×	8	×	1			
		W=50							延長計			
									=	9.360	m	9.360
									0.468	m ²	0.468	
			計測	ライン幅	レーン数	延長計						
3	3000mSCのスタートライン	白	9.9	-	0.05	×	8	=	9.500	m	9.500	
		W=50							0.475	m ²	0.475	
			レーン数					延長計				
4	800mスタートライン	白	(0.385	×	2	) ×	8	=	6.160	m	6.160	
		W=50							0.308	m ²	0.308	
			延長	レーン数		延長計						
		緑	0.40m	×		8	=	3.200	m	3.200		
		W=50							0.160	m ²	0.160	

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)								1 式当たり		
番号	名称	規格	算 定 式						単位	数 量		
			計測			延長計						
5	800m ^ブ レイクライン	緑	8.6			=	8.600	m	8.600			
	B点	W=50	0.430						m ²	0.430		
			計測			ライン幅	レーン数	延長計				
6	3000・5000mスタートライン	白	10.9	-	0.05	×	8	=	10.500	m	10.500	
	C点	W=50	0.525						m ²	0.525		
			計測			ライン幅	レーン数	延長計				
6	10000mスタートライン	白	10.9	-	0.05	×	8	=	10.500	m	10.500	
	A点	W=50	0.525						m ²	0.525		
			計測			ライン幅	レーン数	延長計				
6	3000・5000m ^グ ループ [°] スタート	白	5.1	-	0.05	×	4	=	4.900	m	4.900	
		W=50	0.245						m ²	0.245		
			計測			ライン幅	レーン数	延長計				
6	10000m ^グ ループ [°] スタート	白	5.1	-	0.05	×	4	=	4.900	m	4.900	
		W=50	0.245						m ²	0.245		
			レーン数						延長計			
7	4×400m ^リ レー [°] のスタートライン	白	(0.385	×	2	)	×	8	=	6.160	m	6.160
		W=50	0.308						m ²	0.308		
			延長			レーン数	延長計					
		青	0.40m	×	8		=	3.200	m	3.200		
		W=50	0.160						m ²	0.160		
			延長			箇所	延長計					
8	3000m5000m ^{のグ} ループ [°] スタート	緑	0.05	×	1		=	0.05	m	0.050		
	末端	W=50	0.003						m ²	0.003		
			延長			箇所	延長計					
9	フィニッシュライン	黒	0.02	×	8		=	0.160	m	0.160		
		W=50	0.008						m ²	0.008		
			幅			高さ	50%	レーン数				
		白	0.4	×	0.8	×	0.5	×	8			
		(文字)	※文字占有率50%とする									
			=						1.280	m ²	1.280	

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)					1 式当たり	
番号	名称	規格	算 定 式				単位	数 量
			延長	箇所	レーン数			
10	ハードルの位置	黒	0.1	×	1	×	(8 - 1)	
	100mH(中学女子)	W=50	ハードル個数				m	
			×	1			= 0.700	
			延長	箇所	レーン数	ハードル個数		
			0.1	×	2	×	8 × 9	
							m	
							= 14.400	
			計				延長計	
			0.700	+	14.400		= 15.100	m 15.100
							0.755	m ² 0.755
			延長	箇所	レーン数			
10	ハードルの位置	黄緑	0.1	×	1	×	(8 + 1)	
	100mH(女子)	W=50	ハードル個数				延長計	
			×	1			= 0.900	m 0.900
							0.045	m ² 0.045
		黄	延長	箇所	レーン数	ハードル個数		
		W=50	0.1	×	2	×	8 × 9	
							延長計	
							= 14.400	m 14.400
							0.720	m ² 0.720
			延長	高さ	50%	ハードル個数		
		黄	0.095	×	0.15	×	0.5 × 10	
		(文字)	※文字占有率50%とする					
							= 0.071	m ² 0.071
			延長	箇所	レーン数	ハードル個数		
10	ハードルの位置	青	0.1	×	2	×	8 × 10	
	110mH	W=50					延長計	
							= 16.000	m 16.000
							0.800	m ² 0.800

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)							1 式当たり	
番号	名称	規格	算 定 式						単位	数 量
			文字	幅	高さ	50%	ハードル個数			
		青	0.1	×	0.15	×	0.5	×	10	
		(文字)	※文字占有率50%とする							
			＝						0.075	m ²
			延長		箇所	レーン数	ハードル個数			
10	ハードルの位置	緑	0.1	×	2	×	8	×	10	
	400mH	W=50	延長計							
			＝						16.000	m
									0.800	m ²
			文字	幅	高さ	50%	ハードル個数			
		緑	0.095	×	0.15	×	0.5	×	10	
		(文字)	※文字占有率50%とする							
			＝						0.071	m ²
			幅		高さ	ラップ位置数 (1000・2000m)				
11	2000mSC、 3000mSCの各 ラップタイム用	白	0.1	×	0.086	／	2	×	2	
			＝						0.009	m ²
			延長		箇所					
-	直線曲線変化点	緑	0.05	×	6					
		W=50	延長計							
			＝						0.300	m
									0.015	m ²
			ライン幅		箇所	障害位置(第1障害)				
12	障害物競走の 移動障害位置	青	0.125	×	2	×	1	＝	0.250	
		W=125	障害位置(第2～4障害)							
			ライン幅		箇所	障害位置				
			0.125	×	2	×	3	＝	0.750	
			延長							
			計＝						1.000	m
									0.125	m ²

[illegible]

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)					1 式当たり	
番号	名称	規格	算 定 式				単位	数 量
			延長 入 (2～8) 出 (2～5)					
15	4×400レーンのテー クォーバーソーン (2-3) (3-4) 入	青	0.8 × (7 + 4)					
		W=50						
			= 8.800				m	8.800
			0.440				m ²	0.440
			支柱台 ϕ (0.08～0.15) ϕ (0.08～0.15)					
16	走高跳の支柱台	白	1 / 4 × 0.1 × 0.1					
			π 箇所 (支柱台)					
			× 3.142 × 9 = 0.070695				m ²	0.071
		白	計測基準台 箇所					
		W=40	0.15 × 6 = 0.9				m	0.900
			0.036				m ²	0.036
			判定補助線 箇所 箇所					
		白	(4.02 × 6 + 3.00 × 4)					
		W=50						
			= 36.12				m	36.120
			1.806				m ²	1.806
			ゼ・ロ・ライン 箇所 箇所 (突箱)					
17	棒高跳の助走 路、支柱台	白	1.1 × 2 × 6 箇所 = 13.2				m	13.200
		W=10	0.132				m ²	0.132
			支柱台 箇所 箇所					
		白	(0.1 + 0.05) × 4 × 2					
		W=50	箇所 (突箱)					
			× 6 箇所 = 7.2					
		白	突箱後方 箇所 (突箱)					
		W=50	(1.22 + 0.1 + 0.1) × 4 箇所					
			箇所 (突箱)					
			+ 1.22 × 2 箇所 = 8.12					
		白	Bゾーン 箇所 箇所 箇所					
		W=50	0.05 × (8 × 2 × 2)					
			= 1.6				m	
			計					
			7.2 + 8.12 + 1.6 = 16.92				m	16.920
			0.846				m ²	0.846

附帯施設工事		レーンマーキング工 (WA仕様)							1 式当たり			
番号	名称	規格	算 定 式						単位	数 量		
			助走路部(メイン)		箇所		助走路(ハック)		箇所			
18	走幅跳、三段跳の助走路	白	59.8	×	2	+	59.8	×	6			
		W=50										
			= 478.4							m	478.400	
			23.920							m ²	23.920	
			砂場		砂場(箇所)							
		黒	(0.1	+	0.1	)	×	2				
		W=50										
			= 0.4							m	0.400	
			0.020							m ²	0.020	
			砂場		箇所		砂場(箇所)					
		黄色	(0.1	+	0.1	)	×	2	×	2		
		W=50										
			= 0.8							m	0.800	
			0.040							m ²	0.040	
			スターティングライン (円弧部 円弧部角度=28.955°)									
			r	π								
19	やり投の助走路、円弧	白	8	×	2	×	3.142	×	(28.955			
		W=70										
			/ 360	) = 4.043								
			スターティングライン (直線部)									
			0.75	*	2	= 1.5						
			計 円弧部	直線部		箇所(やり投げ)						
			(4.0434	+	1.5	)	×	2	= 11.087	m	11.090	
			0.776							m ²	0.776	
			助走路部(計測) Aゾーン									
		白	23.67	+	23.34	+	2.81	+	3.1			
		W=50										
			+	4	= 56.92							
			助走路部(計測) Bゾーン									
			25.02	+	24.58	+	0	+	0			
			= 49.6									
			計	延長計								
			56.92	+	49.6	= 106.52				m	106.520	
			5.326							m ²	5.326	

施 設 土 量 集 計 表

[illegible]

材 料 計 算 書

名称：障害池整備

1箇所 当り

名 称	形状寸法	算 式	単位	数 量
【作業土工】				
床掘		$1.0 \times 1.0 \times (0.6 - 0.08) = 0.5200$	m ³	0.5
埋戻し		$1.0 \times 1.0 \times 0.29 - (1/4 \times 0.37^2 \times \pi \times 0.04 + 0.6 \times 0.6 \times 0.1)$	m ³	0.2
残土処分		$0.52 - 0.2497 = 0.2703$	m ³	0.3
【撤去】				
固定障害物撤去	障害バー含む		式	1.0
鋼材ガラ	固定障害物	(112kg-29kg: 参考ニシスポーツカタログ2021 P.72より)	kg	83.0
木材ガラ	障害バー	$0.127 \times 0.127 \times 3.66 = 0.0590$	m ³	0.06
給排水BOX撤去			式	1.0
		アウトフィールド側側壁天端部①		
コンクリートはつり	t=3～6cm	$0.175 \times (3.66 + 1.5 + 0.15 - 0.2) \times 2回 = 1.7885$	m ²	1.8
		トラック側側壁天端部②		
		$0.175 \times (3.66 + 1.5 + 0.15) \times 2回 = 1.8585$	m ²	1.9
		側壁防水モルタル部③		
		$1/2 \times (0.7 - 0.025) \times (3.66 - 0.3) \times 2箇所 = 2.2680$		
		$(0.7 - 0.025) \times 0.3 \times 2箇所 = 0.4050$		
		合計 = 2.6730	m ²	2.7
		前面壁防水モルタル部④		
		$(0.7 - 0.05) \times 3.66 = 2.3790$	m ²	2.4

材 料 計 算 書

名称：障害池整備

1箇所 当り

名 称	形状寸法	算 式	単位	数 量
		アウトフィールド側側壁天端撤去①		
コンクリート撤去		$0.175 \times 0.075 \times (3.66 + 1.5 + 0.15 - 0.2) = 0.0671$		
		トラック側側壁天端撤去②		
		$0.175 \times 0.075 \times (3.66 + 1.5 + 0.15) = 0.0697$		
		$-(0.05 \times 0.05) \times (3.66 + 1.5 + 0.15) = -0.013275$		
		側壁防水モルタル撤去③		
		$1/2 \times (0.7 - 0.025) \times (3.66 - 0.3) \times 0.025 \times 2 \text{箇所} = 0.0567$		
		$(0.7 - 0.025) \times 0.3 \times 0.025 \times 2 \text{箇所} = 0.0101$		
		前面壁防水モルタル撤去④		
		$(0.7 - 0.05) \times 3.66 \times 0.025 = 0.0595$		
		合計	m3	0.25
コンクリート殻処分		コンクリート撤去同様	m3	0.25
		$0.25 \times 2.35 = 0.5875$	t	0.6
		トラック側側壁天端部②		
縁石撤去	鋼材口50	$3.66 + 1.5 + 0.15 = 5.3100$	m	5.3
		給水栓設置箇所		
舗装版切断		$1.0 \times 4 = 4.0000$	m	4.0
		給水栓設置箇所		
全天候舗装撤去	合成ゴムシート t=10mm	$1.0 \times 1.0 = 1.0000$	m ²	1.0
合成ゴムシート処分	t=10mm	$1.0 \times 0.01 = 0.0100$	m3	0.01
		給水栓設置箇所		
アスファルト舗装撤去	t=70mm	$1.0 \times 1.0 = 1.0000$	m ²	1.0
アスファルト処分		$1.0 \times 0.07 = 0.0700$	m3	0.1
		$0.7 \times 2.35 = 1.6450$	t	1.6

材 料 計 算 書

名称：障害池整備

1箇所 当り

名 称	形状寸法	算 式	単位	数 量
【水濠改修】				
切削・オーバーレイ-2		$(2.5+1.5) \times 3.66 = 14.6400$	m ²	14.6
		床面500		
コンクリート	16-8-40 (高炉)	$(1/2 \times 0.175 \times 0.84 + 0.175 \times 0.3) \times 3.66 = 0.4612$	m ³	0.5
		給排水BOX部		
		$(0.175-0.025) \times (0.3-0.025) \times 0.2 = 0.0083$	m ³	0.01
型枠		$0.2 \times 0.3 = 0.0600$	m ²	0.1
		側壁天端部①、②		
防水モルタル	t=25mm 1:2	$0.175 \times (3.66+1.5+0.15) \times 2 \text{箇所} = 1.8585$	m ²	1.9
		側壁部③		
		$1/2 \times 0.5 \times 2.4 \times 2 \text{箇所} = 1.2000$		
		$0.5 \times 1.26 \times 2 \text{箇所} = 1.2600$	m ²	2.5
		前面壁部④		
		$(0.5-0.05) \times 3.66 = 1.6470$	m ²	1.6
		合計 = 4.1070	m ²	4.1
防水塗装		防水モルタル同様 = 4.1070	m ²	4.1
ウレタン舗装-2	t=25mm	$1.26 \times 3.66 - (0.16 \times 0.29) = 4.5652$	m ²	4.6
	スムーズ仕上げ	(ピット柵蓋)		
縁石	プレート固定式	$3.66+0.15 = 3.8100$	m	3.8
	SUSU アンカー共			

材 料 計 算 書

名称：障害池整備

1箇所 当り

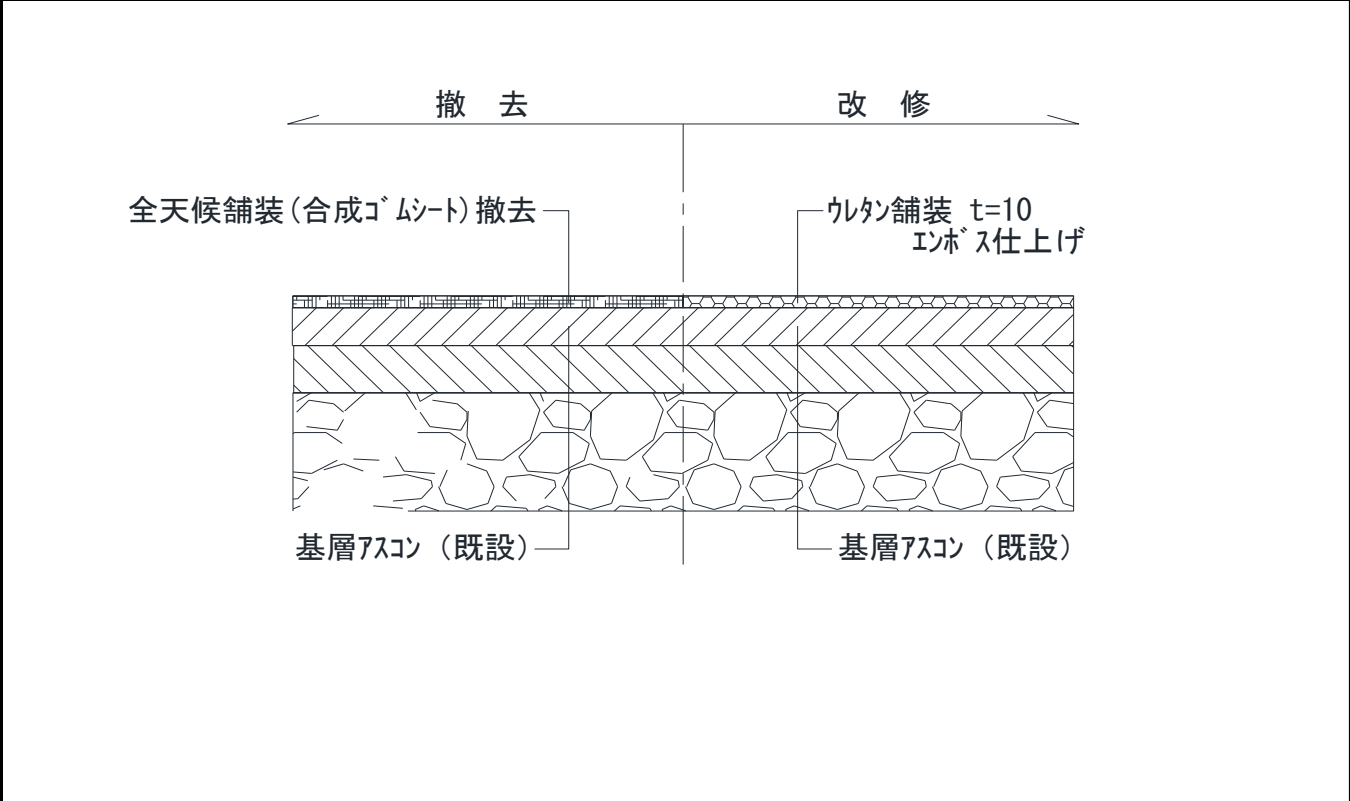
名 称	形状寸法	算 式	単位	数 量
ピット柵蓋			枚	1.0
固定障害物	障害バー含む		箇所	1.0
溶接金網	6×150×150	$0.9 \times 3.66 - 0.29 \times 0.16 = 3.2476$	m ²	3.2
		ピット柵蓋		
【給水栓設置】				
コンクリート平板	□300×60		枚	1.0
小型伸縮式回転バルブ	25A		個	1.0
基礎碎石	RC-40	$0.6 \times 0.6 = 0.3600$	m ²	0.4
	t=100mm			
給水栓BOX	JICボックスφ350		個	1.0
	蓋(ゴム保護カバー付)			
砂利		$1/4 \times 0.35^2 \times \pi \times 0.1 = 0.0096$	m ³	0.0096
		舗装復旧		
下層路盤	C-40,t=150	$1.0 \times 1.0 - 1/4 \times 0.37^2 \times \pi = 0.8925$	m ²	0.9
		舗装復旧		
上層路盤	M-30,t=80	$1.0 \times 1.0 - 1/4 \times 0.37^2 \times \pi = 0.8925$	m ²	0.9
		舗装復旧		
基層	粗粒度 アスコン	$1.0 \times 1.0 - 1/4 \times 0.37^2 \times \pi = 0.8925$	m ²	0.9
	t=40	舗装復旧		
表層	密粒度 アスコン	$1.0 \times 1.0 - 1/4 \times 0.422^2 \times \pi = 0.8601$	m ²	0.9
	t=30	舗装復旧		
ウレタン舗装	t=10mm	$1.0 \times 1.0 - 1/4 \times 0.422^2 \times \pi = 0.8601$	m ²	0.9

材 料 計 算 書

名称：全天候舗装撤去	100m ² 当り
------------	----------------------

名称：全天候舗装撤去	100m ² 当り
------------	----------------------

算式根拠となる構造図

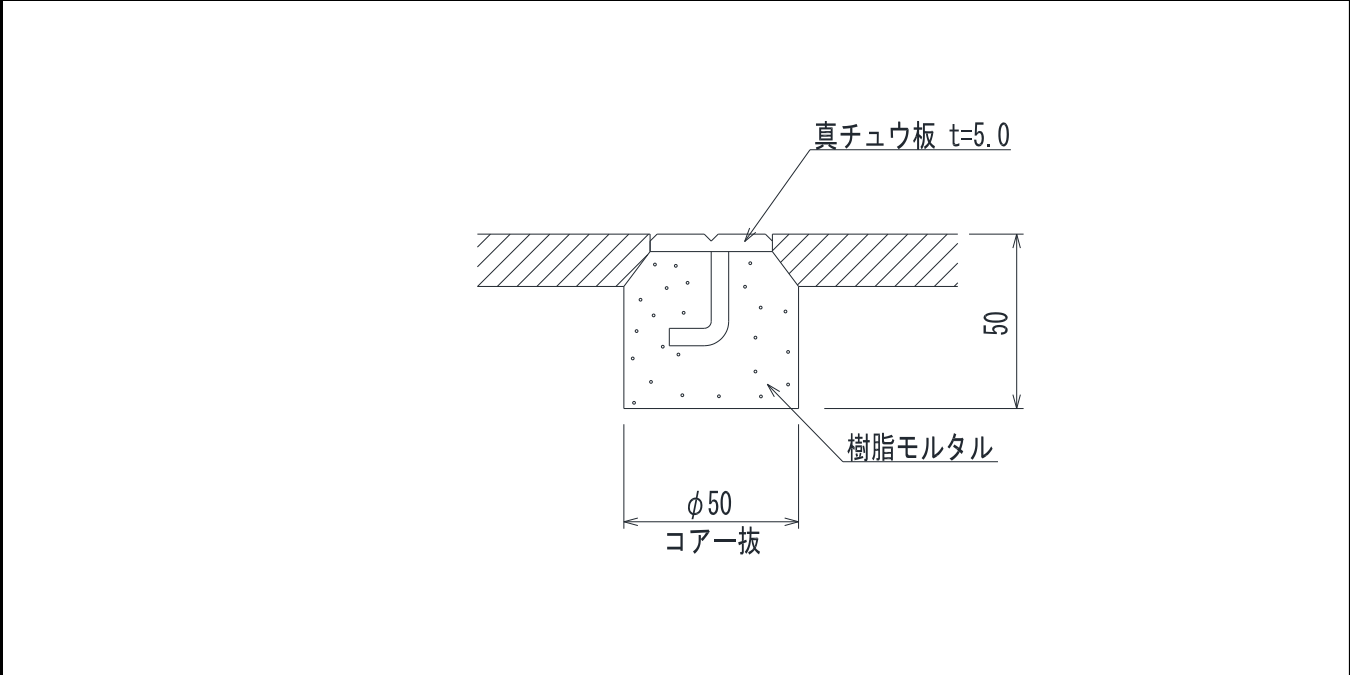
[illegible]

材 料 計 算 書

名称: 角石・標石撤去	100箇所 当り
-------------	----------

名称: 角石・標石撤去	100箇所 当り
-------------	----------

算式根拠となる構造図

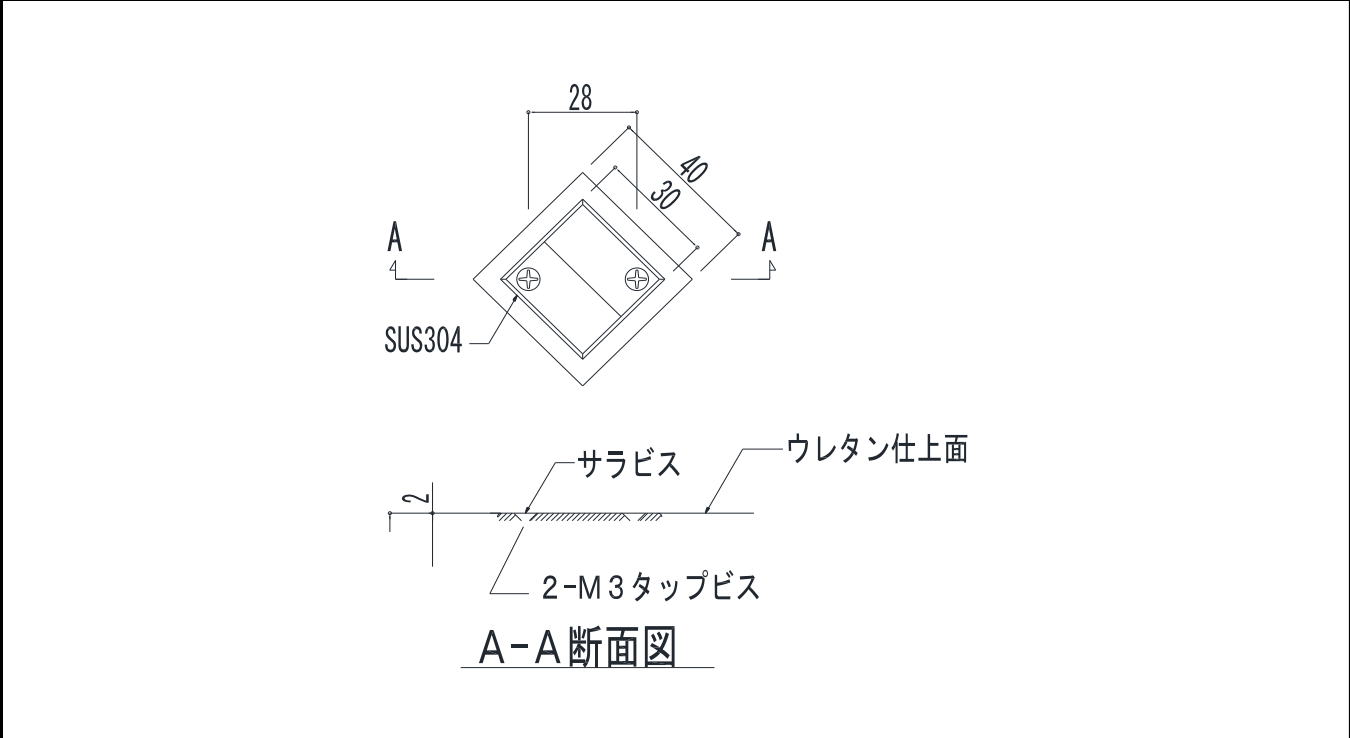
[illegible]

材 料 計 算 書

名称：標識タイル撤去	1式 当り
------------	-------

名称：標識タイル撤去	1式 当り
------------	-------

算式根拠となる構造図

[illegible]